

はじめに

和歌山県中小企業団体中央会は、平成24年度事業で事業化されました「ものづくり補助金」事業の和歌山県地域事務局として、中小企業・小規模事業者の、ものづくり・商業・サービスの分野で設備投資等による革新的な取り組みに対する支援を行い、事業者の皆様の円滑な事業遂行を支えるべく努めて参りました。

平成24年度事業から平成28年度補正事業まで和歌山県内の562事業者様が採択され、ものづくり産業基盤の底上げと競争力の強化が図られています。

この度、本県採択事業者様のうち21事例の事業の成果及び 今後の展望等について取りまとめ成果事例集として発刊させて 頂きました。

本事例集が補助事業者の成果を普及するとともに、今後新たな事業に取り組まれる中小企業・小規模事業者の皆様の参考となりましたら幸いです。

最後になりましたが、本事例集の作成にあたりご協力頂きま した事業者の皆様に深く感謝申し上げます。

平成31年1月

和歌山県中小企業団体中央会

会長 妙中 清剛

目次

本事例集の読み方

- 3 … 本事例集の読み方
- 4 … 平成 24 年度ものづくり中小企業・小規模事業者 試作開発等支援補助金 概要
- 5 … 平成 24 年度採択事業成果事例
- 6 … 湯浅醤油有限会社
- 8 … 有限会社藤村産業
- 10 … 平成 25 年度補正中小企業・小規模事業者 ものづくり・商業・サービス革新事業 概要
- 11 … 平成 25 年度採択事業成果事例
- 12 … アドバン工業株式会社
- 14 … 株式会社興栄ケミカル工業所
- 16 … 株式会社赤井工作所
- 18 … 株式会社三晃精密
- 20 … 株式会社興和製作所
- 22 … 竹島鉃工建設株式会社
- 24 … 株式会社ヨシムラファーム
- 26 ··· 平成 26 年度補正ものづくり・商業・ サービス革新補助金 概要
- 27 … 平成 26 年度採択事業成果事例
- 28 … 株式会社一条
- 30 … 株式会社農業総合研究所
- 32 … 株式会社坂本製作所

- 34 … 桝谷精工株式会社
- 36 … 株式会社中峰農園
- 38 ··· 平成 27 年度補正ものづくり・商業・ サービス新展開支援補助金 概要
- 39 … 平成 27 年度採択事業成果事例
- 40 … 丸和ニット株式会社
- 42 … 株式会社八旗農園
- 44 … 合名会社丸正酢醸造元
- 46 ··· 平成 28 年度補正革新的ものづくり・商業・ サービス開発支援補助金 概要
- 47 … 平成 28 年度採択事業成果事例
- 48 … 有限会社レストランフライヤ
- 50 … 株式会社丸昌
- 52 … 有限会社樽の味
- 54 … 株式会社岡田織物
- 56 … 平成 24 年度採択事業者一覧
- 58 平成 25 年度採択事業者一覧
- 60 平成 26 年度採択事業者一覧
- 63 平成 27 年度採択事業者一覧
- 64 … 平成 28 年度採択事業者一覧



● 補助事業

実施した補助事業の具体的な内容について紹介しています。事業を開始したきっかけが社会的な環境によるものか、企業独自によるものか、得意先からの要望によるものかは、各企業によって異なります。ものづくり技術や設備、サービスなどに、どのような課題があり、補助事業でどのように解決したかったのかについて記載しています。補助事業の目的と目的達成までのプロセス、補助金の使い道についても触れています。

2 成果

各企業の補助事業の成果についてまとめています。補助事業による投資が、短期で受注増や製品の安定供給、コストダウンにつながったり、作業効率が上がったりした企業もあれば、成果に結びつくまで数年かかる企業もあります。各企業では、その成果を具体的に数値で表現しているほか、成果による波及効果について分析しています。

3 今後の展開

補助事業によってもたらされた成果をきっかけにして、今後の事業展開にどのように活かしていくのか、企業の目標について記載しています。また、企業によっては社長が事業展開への意気込みを語っています。

4 会社概要

会社の創業から現在の事業内容を説明しています。製品やサービスの特長、企業の強み、これまで培ってきた技術や設備、企業規模等を記載しています。

平成 24 年度 ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金 概 要

事業の目的

ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等に要する経費の一部を補助することにより、ものづくり中小企業・小規模事業者の競争力強化を支援し、我が国製造業を支えるものづくり産業基盤の底上げを図るとともに、即効的な需要の喚起と好循環を促し、経済活性化を実現することを目的とする。

補助対象者

① 次表に示す事業者

業種	資本金・従業員規模
製造業、建設業、運輸業	3 億円以下又は 300 人以下
卸売業	1 億円以下又は 100 人以下
サービス業	5,000 万円以下又は 100 人以下
小売業	5,000 万円以下又は 50 人以下
ゴム製品製造業(自動車又は航空機用タイヤ及びチューブ。)	3 億円以下又は 900 人以下
ソフトウェア業、情報処理サービス業	3億円以下又は 300 人以下
旅館業	5,000 万円以下又は 200 人以下
(上記以外の)その他の業種	3 億円以下又は 300 人以下

- ②企業組合
- ③ 協業組合
- ④ 事業協同組合、事業協同小組合、商工組合、協同組合連合会その他の特別の法律により設立された組合及びその連合会

補助対象事業

ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の取組みであり、以下の(1)から(3)の要件をすべて満たす事業であること。

- (1) 顧客ニーズにきめ細かく対応した競争力強化の形態として、以下のいずれかの類型に概ね合致する事業であること
 - ① 小口化・短納期化型
 - グローバル競争が激化し、顧客ニーズが多様化する中、顧客からの多品種少量生産・短納期化のニーズに対応可能な体制を構築
 - ② ワンストップ化型
 - 複数の技術を組み合わせた一貫生産体制の導入などを通じて、顧客の幅広いニーズに迅速に対応可能な体制を構築
- ③ サービス化型
 - 長年培った知恵と経験を活用し、顧客のニーズに対して中小企業側から積極的な提案を行うなど、製品以外の付加価値をつけた形での商品提供が可能な体制を構築
- ④ ニッチ分野特化型
- 潜在的なニーズがあるにもかかわらず、他社が気付かないまたは市場規模が小さいため参入しない隙間となっているニッチ分野について、ものづくり中小企業・小規模事業者の高い技術力と機動力・柔軟性を活かし、経営資源 を集中して競争力を強化する体制を構築
- ⑤ 生産プロセス強化型
- 新興国企業との競合や原材料価格の高騰などを背景に、低価格化のニーズに応えるべく、ものづくり中小企業・小規模事業者の柔軟性と技術力を活用して、従来の生産プロセスを見直し、生産性を向上させることで、品質を落とさずに低コスト製品に対抗しうる製品を生産
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかについての事業計画を提出し、その実効性について認定支援機関により確認されていること
- (3) わが国製造業の競争力を支える「中小ものづくり高度化法」22 分野の技術を活用した事業であること

補助率等

● 対象経費の区分

原材料費、機械装置費、外注加工費、技術導入費、直接人件費、委託費、知的財産権関連経費、専門家謝金、専門家旅費、運搬費、維役務費

補助率	補助上限額	補助下限額
補助対象経費の 3分の2以内	1,000 万円	100万円

平成 24 年度

採択事業成果事例

湯浅醤油有限会社

生(なま)醤油(天然醸造、国産原料樽仕込み)製造

無菌化に成功、醤油屋さんによる生醤油づくりを実現





補助事業

本来のフレッシュな味と香りを楽しめる 生醤油の商品化を目指して新型濾過器を導入

醤油発祥の地として知られる湯浅。全国初の醤油の 醸造町として、平成18年に国の「重要伝統的建造物群 保存地区」として選定され、29年には文化庁により日 本遺産にも認定されている。

明治14年に「新古商店」として創業して以来、今日 まで醤油や金山寺味噌、味噌などを製造。醤油だけで も10種類以上の多彩な商品があるが、今回の事業計 画では、無菌化された生醤油の製造を目指した。

一般の醤油は、生醤油の発酵を止めるために火入れ をし、殺菌してからボトリングする。生醤油は火入れ をしないでボトリングするため、醤油本来のフレッシ ュな味と香りを楽しめることが特徴だ。しかし火入れ をしないと、微生物により品質が劣化することなども

あり、流通に乗せることは難しいといわれる。現在、 一般的に流通している生醤油は、大手メーカーのもの がほとんどである。

同社では醤油の菌数を減らす製造はできたが、大手 メーカーとの設備力の差で、食品の菌分析で無菌扱い される菌数 $(300以下/m\ell)$ の実現までは至らず、また 菌と一緒にうま味まで取り除いてしまう欠点があった。 しかし菌だけを取り除き、うま味を残す効果のある新 型濾過機「サニーフィルター」を使って、濾過助剤の 種類と配合を研究し、特別な濾層を形成することによ り、菌数が1ml内で200個になることが判明。無菌化 することで、生醤油のうま味をそのままに、賞味期限 を長く設定することも可能になると分かった。

成 果

ブランド力強化とプレミアム感を狙い 冬季・数量限定で提供、毎年ほぼ完売

同機械の導入により生醤油の無菌化に成功、うま味成分の高い高窒 素の商品が生まれた。商品名は「しぼりたて生(なま)湯浅醤油」で、 200㎡ 702円。同社や同社系列会社の土産店やインターネットで販売。 無菌化により通年販売も可能だが、同社のブランド力の強化を狙い、 プレミアム感を出して消費者の購買行動を高めるため、11~5月の冬 季・数量限定で提供している。

補助事業終了後5年間の事業化スケジュールでは、1年目は1000ℓ、 2年目は1500ℓと、年を追うにつれ生産量を拡大し、売上もアップ。 平成29年度は6013本製造し、ほぼ完売している。



今後の展開

一般流通に乗せられる生醤油として 国内外の販路を広めていきたい

同商品は現在期間限定で販売しているが、無菌化を実現したことか ら一年を通しての販売も可能なため、今後は一般流通に乗せることも 検討している。ほかにない生ならではのフレッシュ感を前に出し、約 140年も続く醤油屋がつくる醤油として「湯浅醤油」のブランド力を さらに高め、他品との差別化を図り、既存・新規の販売店や料亭、関西・ 関東の百貨店などでも販売を拡大。また、すでに海外の有名シェフに も認められている同社の醤油づくりの実績を踏まえて、ヨーロッパ、 東南アジアなどの一部海外にも販路を広げていきたいと考えている。



約140年の歴史を誇る老舗 醤油の魅力を伝える活動も

明治14年に金山寺味噌の店として創業し、その後金山寺味 噌のたまりを使用した醤油の製造・販売も始める。平成14年 に有限会社として設立、現在は5代目が歴史ある醤油づくり を引き継いでいる。醤油2種がモンドセレクションの金賞を 受賞。また小学生を対象とした食育活動を行うなど、国内外 で日本が誇る調味料の魅力を広げている。





湯浅醤油有限会社

代表者/代表取締役 新古 敏朗 設立/平成14年1月18日 資本金/300万円 従業員/12人 事業内容/醤油の製造・販売など

〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1464 TEL.0737-63-2267 FAX.0737-63-5789 URL. https://www.yuasasyouyu.co.jp Mail. kuyou@yuasasyouyu.co.jp

有限会社藤村産業

マイコン制御型ダブルエンドテノーナによる最先端トイレブースの製作

確かな技術と提案力で、最先端のトイレブースを和歌山から発信





補助事業

需要が高い密閉型のトイレブース発注に応えて コンピューター付きカット機を導入

昔から林業が盛んな和歌山県は、建具業の歴史が古く、 特に和歌山市は県下の建具業者が集中する地域として知 られる。「藤村産業」は戦後、市内で木製建具製作所とし て創業し、時代の変遷と共に、ユーザーが求める建具を 企画、製造、販売している。

現在は商業施設や文化施設、オフィスビル、教育施設、 病院などにあるトイレブース(トイレ個室の間仕切壁) やフラッシュ (扉) 建具の製造・販売をメインに事業を 展開。近年はデザイン性や犯罪防止などの観点から、上 下に隙間のない密閉型のトイレブースの発注が増えてき ている。

密閉型のトイレブースは3m近くの高さがあるものが 主流であり、トイレパネル(扉や壁になる木材板)の

カット加工に、高い寸法精度が求められる。同社にあ るカット機は1987年型でマイコン制御が付いていなか ったため、昔ながらの手作業でパネルを測定してカッテ ィングしていた。精度の誤差が生じやすく、熟練技師 がカバーしていたが、カッティングに相当の時間を費や すことがあり、急な納期変更への対応が困難で、依頼を 断るケースもあった。

コンピューター付きカット機「マイコン制御型ダブルエ ンドテノーナ」を導入することにより、これらのデメリッ トを対処できる上、複雑で多様性の高い加工も可能となる。 また、多品種・少量生産に有効利用するなど販売量の増加 につながることも予想できるため、同事業を実施するこ とにした。

成 果

3mクラスの密閉型トイレブース市場で 対前年比で毎年10%の受注増に

最新機械の設置により、0.1mm単位での制御が実現。また、厚手 の特殊パネルのカットも容易になったことから、デザイン事務所や スーパーゼネコンなどが依頼する、デザイン性の高いトイレブースを 忠実に製造できるようになった。

その他、生産時間の短縮、コスト削減も予想した通りの成果を上げ た。増産や急な納期変更にも対応可能になったことで、以前は断って いた仕事も受注できるようになった。

その結果、3mクラスの密閉型トイレブース市場で、対前年比で毎年 10%の受注増につながった。



今後の展開

長年培ってきた知識とアイデアで 「10年先のトイレ」を提案

同社は「東京スカイツリー」(東京都)や「グランフロント大阪」(大阪府) など、大都市圏の大型商業施設のトイレブースの受注実績を持つ。 2020年の東京オリンピック開催をはじめ、都市部の再開発が進み、中 古ビルの改修需要が高まっている今、最新機械の導入と業界日本トップ クラスの熟練技術で、さらなる大型受注を狙う。

同時に、今後も進化するトイレ空間を、長年培ってきた建具製造の 知識とアイデアを基に、「10年先のトイレ」として提案。安売り競争に 埋没することなく、最先端のトイレブースを和歌山から発信していこう と考えている。



各施設のイメージに合った トイレ空間をクリエイト

戦後に木製建具製作所として発足した「藤村商店」が原点。 昭和40年に和歌山市の小倉木工団地に移転し、昭和48年に 屋号を「藤村産業」に変える。昭和51年に現在のメイン事業 となるトイレブース部門を開設し、近年は関東や近畿、東海 地方を中心に、大型商業施設やホテルのトイレブースやフ ラッシュの建具の製造・販売を行っている。





有限会社藤村産業

代表者/代表取締役 藤村 孝義 設立/平成15年 資本金/300万円 従業員/11人

〒649-6261 和歌山市小倉294-100 TEL.073-477-4025 FAX.073-477-1278 Mail.fuiimura@wine.ocn.ne.ip

事業内容/トイレブース・フラッシュの建具の製造・販売

平成 25 年度補正

中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業

概要

事業の目的

ものづくり・商業・サービスの分野で環境等の成長分野へ参入するなど、革新的な取組にチャレンジする中小企業・小規模 事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品・新サービス開発、設備投資等を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を現に有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、 【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【ものづくり技術】、【革新的サービス】の2類型がある。

それぞれについて「1. 成長分野型」、「2. 一般型」、「3. 小規模事業者型」がある。

	ものづくり技術	革新的サービス
1. 成長分野型 ・補助上限額:1,500万円 ・補助率:2/3 ・設備投資が必要	「成長分野」とは、 「環境・エネルギー」「健康・医療」「航空・成 25 年 6 月 14 日)】 本類型に申請可能な者は、専ら、上記の プロセスの改善・新サービス開発に取り組	
2. 一般型 ・補助上限額:1,000 万円 ・補助率:2/3 ・設備投資が必要	補助対象要件を満たす案件は、すべて申認の 小規模事業者型」に該当する申請も、- きない。	
3. 小規模事業者型 ・補助上限額:700万円 ・補助率:2/3 ・設備投資は不可	申請可能な者は、「中小企業基本法」第 第 154 号)の「小規模企業者」に限る。	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【ものづくり技術】

- (1) わが国製造業の競争力を支える「中小ものづくり高度化法」11分野の技術を活用した事業であること。
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関の確認を受けていること。

【革新的サービス】

- (1) 革新的な役務提供等を行う、3~5年の事業計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること。
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

補助率等

• 対象経費の区分

原材料費、機械装置費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家謝金、専門家旅費、雑役務費

補助率	補助上限額		補助下限額	
補助対象経費の	成長分野型	一般型	小規模事業者型	100 万円
3分の2以内	1,500 万円	1,000 万円	700 万円	

平成 25 年度

採択事業成果事例

10 | ものづくり補助事業 わかやま成果事例集

アドバン工業株式会社

ナノ加工の世界で見せる日本のものづくりの底力

nm 単位の加工精度と"made in Japan"によるコスト削減





補助事業

海外メーカーに対抗できるコスト実現のため 加工精度の高いマシニングセンタを導入

近年、各業界では生産のグローバル化が進み、部品 の海外調達が増える中、コスト面においても取引先か らの要求は年々厳しくなってきている。精密機械部品 加工事業を展開する「アドバン工業」も、主要顧客が 小型ショベル向け油圧ポンプ部品の海外輸入を検討す るなど、同様の課題を抱えていた。特に同部品は非常 に高い加工精度(平行度 0.02mm)が求められ、コス トも厳しく、既存設備での対応が難しい状態だった。

しかし、「海外メーカーに対抗できるコストで、日 本メーカーに加工してほしい」との顧客からの要望を 受け、日本のものづくりの底力を立証するためにも、 同事業の活用を決断。現状の設備よりも加工精度の高 い新型機器を導入することで、「加工時間の短縮」や「研 磨工程の削減」を実現し、"made in Japan"によるコ スト調整を目指した。

導入した機器は、高圧クーラントを搭載したスケー ルフィールドバック仕様の横型マシニングセンタ 「DMG 森精機製 NHX5000/40 9CPP」。同機器は油 圧ポンプ用特殊高精度高圧部品等の切削加工におい て、非常に高い加工精度を誇る。また、スルースピン ドルクーラント装置により、切りくず除去、加工点の 冷却、工具寿命の延長に効果的である。さらに、スケー ルフィードバック機能により、平行度 0.005mm の加 工精度が可能となり、既存のマシニングセンタで必要 な研磨工程(切削加工後の工程)が不要になるなど、 さまざまな効果が見込まれた。

工程の無駄を省いて時間を39%削減 顧客の満足を得て受注獲得へつなげた

同設備の導入により、目標としていた「加工時間の短縮」や「研磨工 程の削減」が可能となり、精度の高い加工が容易となった。

従来よりも約39%も時間を短縮。単価コストにおいても、他社単

価が1個400円に対して、自社で1個350円と12.5%の削減を実現した。 また同社の技術力で一稼働当たりの生産個数を大幅に増加したこと などから、低価格を実現しつつ安定して部品を提供できるようになり、 顧客の満足度を高めることが結果として信頼を得ることにつながり、



今後の展開

積極的な受注獲得へと結び付いた。

ナノ加工とハイレベルなアイデアで 海外への生産依存を防ぐ取り組みも

今後は受注が確定となる他の部品においても量産体制を整え、顧客 の要望である「製品の高精度化」が可能となる治具の開発をすすめ、 より厳しい要求水準に応えられる精度の高い製品を生産しようとして いる。

また、横型マシニングセンタの特長でもある、高精度のナノ加工を 最大限に生かした生産スタイルも検討している。豊富なアイデアを持 つ同社ならではのオリジナリティーある加工方法で販路を広げるとと もに、海外生産(調達)シフトを少しでも防ぐような取り組みを実現 させつつ、日本のものづくりの底力を全国に広める。



半世紀の業歴から生まれる 低コスト & 高精度の製品

省人化設備設計に始まり、精密機械部品加工メーカーとし て、半世紀の業歴を誇る実績を積み重ねてきたアドバン工業 株式会社。産業用機械メーカーを中心とした機械部品の加工 を行う一方で、独創的なアイデアを取り入れた複雑な加工に も挑戦。自動化ラインをはじめ、さまざまな加工機を構築し て、低コスト&高精度な製品を生み出している。





アドバン工業株式会社

代表者/代表取締役 長尾 宗紀 設立/昭和56年 資本金/2.000万円 従業員/95人 事業内容/精密機械部品加工

〒640-8441和歌山市栄谷882 TEL.073-451-3312 FAX.073-452-2255 URL.http://www.advan-industrv.co.ip Mail.head_office@advan-industry.co.jp

株式会社興栄ケミカル工業所

マット裁断加工技術の高効率化・高精度化による販路拡大及び事業の拡大

品質向上と低コストを実現させ、自社開発の製品で市場拡大を目指す





補助事業

CAD・CAM 裁断機の導入により手動から自動化へ 高効率・高精度な製造ラインの確立を図る

「興栄ケミカル工業所」は、合成樹脂をシート状に して素材に貼り合わせる加工を主軸にした事業を展開。 自動車向けのマット・シート、家庭用や商用の床材 マット・シート、土木・公共事業向けの資材など多岐 にわたった製品を生産している。

同社は5m以上の大型マットを製造する数少ないメー カーでもあり、顧客からさらなる増産や短納期、多品 種対応を求められていた。今まで以上に高効率で高精 度な製造ラインを確立するためには、手切りによる裁 断方法を見直して、新しい裁断機の導入が必要と考 えた。また平成27年に、社内で生産一元化を図るこ とを目的に新工場を設立。大型の裁断機の導入が可能 になったことも、同事業を実施する後押しとなった。

本事業はCAD・CAM自動裁断機を導入することで、 高効率・高精度な製造ラインを確立し、品質向上と低 コスト化を図ることを目的とする。導入した裁断機 「シマトロニック CAD/CAMシステム」は、電子デー 夕の図面を自動裁断機用データに変換して、自動裁断 機で連続して精密切断するもの。今までの裁断工程は、 原寸型紙を基に形状抜型で作成して、熟練工が刃物で 1枚ずつ手動切断していた。しかし、自動裁断機によ る裁断工程を構築すれば、型紙を電子データ化し、そ れを直接自動裁断機にインプットすることで、形状抜 型の作成が省けるようになる。同時に、裁断精度・効 率向上による多品種対応、短納期、歩留まり向上(低 コスト化)などを図ることもできる。

成 果

自動裁断機と働きやすい職場で 期待された4つの成果を実現

自動裁断機導入より現実化した主な成果は、「裁断時間の短縮」「歩 留まりの向上」「形状抜型が不要」「製品検査の簡略化」の4つ。

「裁断時間の短縮」は連続裁断により、約30%の作業時間の短縮が 可能に。「歩留まりの向上」では、CAMによる高精度化でロス率が 60%削減。「形状抜型が不要」はCADデータ管理で刃型置き場の管理 が不要となり、同時に仕事場での従業員の安全性が今まで以上に確保 できた。最後の「製品検査の簡略化」では、全数検査から抜き取り検 査で品質管理を行うなど、期待していた生産効率のメリットが同事業 により実現した。



今後の展開

本事業導入の効果を基に 各市場へのさらなる展開を狙う

本事業の成果により実現した「品質向上」と「低コスト」による生産体 制で、今後は各市場へのさらなる展開を図る計画を掲げている。自動 車向けマット市場では、コスト競争力による市場拡大と収益の向上に 注力する。商用・家庭用向けマット市場は、同社の強みである大型マッ トのラミネート加工と自動裁断で競争力のアップを図り、新規顧客を 獲得して市場の拡大を目指す意向だ。土木・公共事業向けのマット市 場に関しては、自社で開発した機能性の高いシート材を寸法精度の高 い品質で提案して、新規案件を有利に獲得することを狙っている。





自動車用フロアマットなど 各種マットを幅広く製造

昭和 58 年に大阪で創業し、同年に和歌山県に移転。昭和 63年にT型ダイス押出機を導入し、自動車用フロアマットの 製作を開始。以後、家庭用・商用の床材マット・シート、土木・ 公共事業向けの資材などの各種マットも製造。平成8年に株 式会社設立、平成27年には橋本市神野々に新工場を建て、外 注部門を内製化して生産能力の向上に努めている。





株式会社興栄ケミカル工業所

設立/平成8年12月 資本金/1.000万円 従業員/42人

代表者/代表取締役社長 湯原 直子 〒648-0086 橋本市神野々45-2 TEL.0736-26-4540 FAX.0736-26-4541 URL. https://kouei-ch.iimdo.com

事業内容/合成樹脂貼り合わせ加工および裁断・縫製加工

株式会社赤井工作所

油圧式サーボ・加工式プレスブレーキ特注品の短納期・多品種・小ロット化への実現

加工技術と生産性を向上させて、金属加工製造の受注拡大と新規開拓を狙う





補助事業

高性能な曲げ加工機の導入で生産時間を短縮 加工不良を削減して、より高い品質の製品を目指す

金属加工全般を請け負う「赤井工作所」は、設計から 製作・加工、組立、据付まで生産の一貫体制を整えて、 顧客の提案を取り入れながら製造し、提供している。 特注品は通常1週間から2週間程度で納品しているが、 数日での完成を求められるなど納期条件の厳しいケー スは受注できないこともあった。この問題を解決する には、加工時間の短縮を実現する設備の導入が必須と 判断。さらに多品種、小ロット化も目指し、今回の事業 の実現につながった。

金属加工にはさまざまな種類があり、そのうちの一 つであるプレス加工は、板金に圧力を加えて要求され ている形状に作り上げていく。板金を折り曲げる技術 である「曲げ」は、製品加工の中でも重要な技術とされ ていて、高精度の仕上がりが求められる。

同事業で導入した設備は油圧式サーボ・下降式プレス ブレーキ型式の「TruBend5230」(トルンプ)で、オー トメーションによる全セットアップが可能となる高性能 な曲げ加工機である。この加工機と専用ソフトを使うこ とで、加工時間が大幅に短縮できることが見込め、同時 に曲げ加工の不良も削減でき、より高い品質の製品を提 供することが可能になる。

また、従来の設備では金型を取り付ける作業を2人で 行っていたが、新加工機は1人での作業が可能となるこ とから、人件費などの生産コストが削減。その効果を受 注単価に反映して、競争力強化につなげていきたいと考 える。

成 果

加工時間短縮や不良品発生の削減が実現 顧客に高品質な製品を素早く提供する

設備導入により、加工時間の短縮や不良品発生の削減が実現。さら に、加工機の標準仕様がオープンハイトが615mm、ストロークが 445mmになっていることから、生産性に優れた加工が行えるように なった。また、箱曲げや深曲げができるので、溶接工数を減らせるメ リットもある。レーザー式安全装置が付いているので、生産性が上がっ ても従業員の安全体制を構築できる。

高品質な製品を素早く顧客に提供できる生産環境が整ったことによ り、従来の製品生産に加えて、高精度製品などの受注を増やし、利益 を追求することが可能になった。



今後の展開

短納期特注品の受注を伸ばし 高精度製品市場の新規開拓も行う

同事業による金属プレス業界の市場規模は約1兆円。内訳は産業機械 用335億円、農業機械用101億円、事務機器用38億円、精密機器用74 億円、自動車用8,500億円、厨房機器用339億円といわれる。このうち、 産業機械用および精密機械用の2市場で、多品種、小ロット、短納期の 特注品受注増とコスト削減効果が見込まれる。これらの短納期市場規 模は、2市場で年間50~60億円程度と推定できる。

コスト削減分については、顧客に反映することにより、失注分の確 保のみならず、新規の受注拡大が期待される。また、福祉・医療機系 など精密機器用の高精度製品市場の新規開拓を行っていく。



金属加工のものづくりを 一貫生産体制で対応

平成元年に設立以来、精密板金、製缶などの金属加工全般 を、発注メーカーの設計・開発段階から携わり、共同でもの づくりを行っている。加工から組立、据付まで一貫生産が可 能。生産計画に対応した実加工のスピードアップを図るため、 レーザー加工機やブレーキプレスなど最新の設備を導入し、 夜間自動運転も行っている。





株式会社赤井工作所

代表者/代表取締役 赤井 美隆 設立/平成元年 資本金/1.000万円 従業員/50人 事業内容/金属製品製造業

〒649-6202 岩出市根来2027-2 TEL.0736-62-9291 FAX.0736-62-7152 URL. http://www.e-akai.co.ip Mail.akai@e-akai.co.jp

株式会社三晃精密

新仕上げシステム導入における金型部品の生産能力の改善と、さらなる精度向上

磨き技術の自動化で生産コストの削減や品質の向上を図る





補助事業

手作業を機械化することで作業時間が大幅に短縮 短納期・コストダウンが可能になり、新たな販路も期待

各種精密金型部品や金型を製造する「三晃精密」は、材 料手配から製品検査まで、顧客のニーズにトータルでサ ポートしている。しかし、製造工程の一つである磨き加 工で、形状によっては外部専門業者へ依頼する製品が少 なくなかった。また、熟練技術者の手作業に依存してい る現状にあることから、一般作業者でも質を落とすこと なく、容易に作業ができる金属磨き仕上げ装置の導入が 検討された。

解決策として、金属磨き仕上げ装置「SMAP-II」を2 台、「SMAP-IIF」を1台導入。荒磨き用、中磨き用、仕 上げ磨き用と3台使い分けることで、複雑な3次元異形状 の鏡面仕上げ、ワイヤー目の除去、微小バリ取り、外周 面のエッジ仕上げ、艶出しなど加工技術を向上させ、他

社との差別化を図る。一般作業者がこの仕上げ装置を使 用するために、まず、熟練作業者が新装置を使いこなし てから、一般作業者に使用方法を講習して、技術の質を 一定にする。

金属磨き仕上げ装置の導入により、手作業を機械化す ることで、作業時間が大幅に短縮され、磨き加工の生産 性が現状の110%以上になると予測される。さらに、短納 期・コストダウンが可能になるため、新たな顧客獲得に もつながる。

将来的にさらなる生産強化を進めるためにも、磨き加工 が精密部品に付随する作業工程の一つではなく、磨きのみ の独立事業を確立したいとの考えから、同事業に着手す ることを決めた。

成 果

機械化で劇的な時間短縮が実現 今後は3割増しの生産性を目指す

金属磨き仕上げ装置を導入し、その具体的な成果として、複雑な形 状を持つ部品を例に挙げると、4時間程度必要とする磨き作業が7分 に、2時間以上の荒磨きと5時間以上の磨き仕上げを必要とする作業 が2分の荒磨きと6分の磨き仕上げで計8分に、8時間程度の微細部分 の磨き作業が6分に、と劇的な時間短縮が実現され、コストダウンに つながった。

熟練作業者、一般作業者ともに、精度を保ちながら磨き工程を行え たことで、生産効率向上が図れることが確定。生産性が110%以上見 込めることも立証し、今後は120~130%を目指す意向だ。



今後の展開

磨きを必要とする精密部品生産を強化し 磨きのみの事業も社内で確立したい

金属磨き仕上げ装置の精度の高さから、自信を持って、磨き工程を必 要とする精密部品の生産強化を進めていく。また、磨き工程を必要とす る精密部品加工の短納期化が図れるため、今後は磨き工程込みの市場需 要の調査を行って、販路の拡大を図る。

同時に、磨きのみの市場需要の調査も行い、必要であれば社内で磨き 事業を確立したいと考える。そのために設備投資も進めて、作業員を増 員して人材育成に努める。今回の金属磨き仕上げ装置のように、工場の 自動化により女性やシニアが働きやすい職場環境を整え、日本の少子高 齢化や、労働人口の減少している状況に対応したい。





社内で一貫した体制で製作 高い加工精度が自慢

半導体産業を中心とした各種精密金型部品や金型の製造を 行う。精密金型部品は材料手配からフライス、研磨、ワイヤー、 ラップ加工まで一貫して対応。金型は厚さ 0.05mm~ 1.0mm 程度の薄物小物の精密順送プレス金型を提供してい る。±2、3µmの高い加工精度を実現。精密金型は国内大手二 輪四輪メーカーや電機メーカーにも採用されている。



営業部部長 大平 俊之

株式会社三晃精密

代表者/代表取締役 濱本 浩一 設立/平成2年2月5日 資本金/1.000万円 従業員/32人 事業内容/精密金型部品加工、機械部品加工、精密治工具加工、

精密順送プレス金型製造・製作

〒649-7204 橋本市高野口町小田565-1 TEL.0736-44-2065 FAX.0736-43-2062 URL. http://www.sankoseimitsu.co.ip Mail.info@sankoseimitsu.co.jp

18 | ものづくり補助事業 わかやま成果事例集

株式会社興和製作所

CNCドリルマシン導入による生産工程の改善と短納期化

高精度な高速穴あけ機で"誤差ゼロ"の鉄骨加工技術を目指す





補助事業

鉄骨造接合部の高力ボルト用穴の位置寸法精度と 穴あけ精度の誤差を防ぎ、生産性の向上を実現

建造物の鉄骨工事や鋼構造物工事を軸として事業を展 開する「興和製作所」。鋼材を自社工場で切断、穴あけ、 溶接などの加工作業を行って、建造物の柱や梁(はり)な どを製作し、その一部を組み立てた後、工事現場に搬入し て建物全体に接合する。

H形鋼は鉄骨建方で不可欠な鋼材の一つで、建築鉄骨の 柱や梁に使われることが多い。鉄骨造の接合には高力ボ ルトが用いられ、専用機械のドリルマシンを使って、鋼 材にボルト用の穴あけ加工を行う。

このボルト穴の形成はとても高い技術が要求される。 鉄骨建方精度は柱の傾きが5mm以内に収まるように規定 されていて、誤差が多発すると建物全体の偏りを規定以 内に収めることが難しくなる。穴あけ加工の位置寸法や 精度に誤差が生じると、この鉄骨建方精度に影響し、ま た、工程の遅延、作業員の負担、費用の発生などを誘発す る一因となる。

今回の事業では、これらのデメリットを解消するため に、現状の機械をリプレイスし、高速穴あけ加工機 「CNC3軸全自動H形鋼ドリルマシン3DH-1000III」(ア マダマシンツール)の導入を検討した。鉄骨建方精度の 向上、工期短縮、安全な据え付けなどを実現して、顧客 との信頼を獲得し、今後のリピート受注や継続取引に結 び付けることを目標にした。また、自動化で加工スピー ドが上がり、生産性も向上。作業時間が短縮されること から、外注に頼っていた穴あけ加工を社内で行えるため、 加工費の削減も可能だと考えた。

成 果

位置寸法精度と穴あけ精度が正確になり 寸法精度が限りなくゼロになる結果に

今回の事業で導入した機械設備を鉄骨建方で不可欠なH形鋼の穴あ け加工に用いた結果、位置寸法精度と穴あけ精度が正確になり、寸法 精度の誤差が限りなくゼロになるという成果が得られた。加工スピー ドが向上し、工数の把握が容易になって、ドリルマシンの生産性が 15%アップ。また作業員の負担が軽減できたため、他の作業にも取 り組め効率が上がった。協力会社へ加工を委託する場合も、同社が穴 あけ加工をすることで、全体のリードタイム短縮にもつながった。さ まざまなメリットが生じ、鉄骨加工の作業工程管理がよりスムーズに 実施でき、製品の安定供給が実現した。



今後の展開

工場のオートメーション化で目指す 高度なものづくりと従業員の安全

導入した機械の穴あけ加工の重量は、月度400tまで可能である。現 在、同社で加工を行っている重量は月度平均 100t 程度なので、まだま だ十分な許容能力を持ち、今後さらなる生産率アップを目指すことが できる。「高性能な機械を導入したことで、希少性の高い、複雑な製品 を安価で提供できるような、高度なものづくりに挑戦していきたい」 と松場崇晃代表取締役は話す。また、「鋼材を取り扱うなど危険と隣り 合わせの職場でもあるので、従業員の安全に気を使いたい。今後もエ 場内のオートメーション化を図って人力をアシストし、より働きやす い職場を整えていけたら」と語った。



半世紀以上にわたって 鋼材の加工・組立を展開

昭和 23 年に鉄工業として創業。昭和 36 年に株式会社を 設立して以来、半世紀以上にわたり、大型商業施設や公共施 設、学校、病院、ホテル、マンション、工場など多種多様 な建築物における鉄塔、鉄柱や鉄製部材の溶接・製造を主 な事業として展開。製造のみならず、施工先へ従業員を派 遣し、建築現場での組み立て作業なども請け負っている。





株式会社興和製作所

代表者/代表取締役 松場 崇晃 設立/昭和36年4月17日 資本金/1.000万円 従業員/24人 事業内容/鉄骨工事、鋼構造物工事業

〒640-8401 和歌山市福島618-6 TEL.073-451-2374 FAX.073-455-8840

20 | ものづくり補助事業 わかやま成果事例集

竹島鉃工建設株式会社

計画的生産性向上の為に溶接ロボットを導入

ロボットによる生産性の向上で、品質を確保しつつ人材不足を解消





補助事業

東京方面の需要拡大を見越し、溶接ロボットを導入 生産性の向上にプラス、新技術や顧客ニーズにも対応

あべのハルカスやそごう心斎橋店など、大型高層ビ ルにはじまり、河川や渓谷に架ける橋梁の公共事業に 至るまで、官民問わずに幅広い事業領域で鉄骨の施工 に取り組んでいる「竹島鉃工建設」。人々の生活を豊 かにする空間づくりをモットーに、製品開発・設計・ 品質管理といった生産ラインから材料搬入、製品発送 までの全行程をトータルにプランニングしている。

特に同社が得意とする4面ボックスなど、他社との差 別化ができるような物件は、今後東京方面で多くの需 要があると考えていた。しかし、東京の物件は規模も 大きく、今まで以上の製作数量を要求されることが予 測でき、同社が手掛けるには製作数量を上げることが 必須であった。そこで、これまでに柱の製作方法や工 場のレイアウト、人材確保、従業員教育など、生産効 率を上げるためのさまざまな取り組みを独自で行って いた。一定の成果は上がるものの、効率を上げるため の実質的な人材確保が難しく、さらに今後も人材は不 足すると予想される中で、ロボットによる生産性の向 上に注目。生産性の向上を目的としつつ、新技術や顧 客ニーズに対応した課題を達成するために「柱大組立2 アーク溶接ロボットシステム」を新たに導入した。

平成27年3月に同システムを設置。検収後、順調に 製作に取り掛かった結果、今までのシングルアークロ ボットに比べ、製作時間が短縮され、品質も確保しな がら生産効率が向上。確実に広がりつつある施工実績 を軸に、さらなる事業拡大にもつなげている。

オリジナルカスタマイズで大規模発注にも対応 付加価値の高い製品を武器に首都圏へと進出

単に2アークの溶接ロボットを導入しただけでなく、今後の大きな 発注に合わせて、重量やサイズのリミットを増幅した仕様にカスタマ イズ。鉄骨造の柱で一般的な形状のS造コラム柱をはじめ、各種タイ プの柱に適用し、しかも特殊な柱貫通タイプにも対応可能で、幅広い 分野での活用が可能となった。中でも成果としてあげられるのが、シ ングルアークの溶接に比べ溶接時間が3分の2に削減できた点。時間 短縮の上に、高品質な溶接が可能となり、またスラグ自動除去など外 観の仕上げ、溶接後の後処理も短縮され、付加価値の高い製品をより 多く製作。結果、首都圏までマーケットを広げられるようになった。



今後の展開

東京五輪から大阪万博まで大きなチャンスをつかみ 会社を安定させつつ、人材雇用や社会貢献に生かす

現在、同補助事業の活用により、自社ではなかなか踏み出せなかっ たロボット化を推進。2機目の2アークロボットの発注のほか、夜間に も無人で稼働させ、ロボットの能力を最大限に引き出す製作方法を取 り入れている。また2アークの横向き溶接など、システムの可能性にも 着目。技術者の創意工夫も広がりを見せている。今後、2020年の東京 オリンピックのほか、大阪万博など、同社が得意とする物件の確保が 見込まれる中、2025年を目標に製作数量を今の2倍に引き上げ。さら に受注の見込みと製作数量の継続した確保により、会社を安定させつ つ、人材の雇用、社会貢献につなげる所存である。





鉄骨のスペシャリストとして 「鉄」に生命を与える仕事

昭和46年に設立。鉄骨のスペシャリストとして、高い技術 と軽快なフットワークを武器に、関西のランドマークと呼ば れる建造物を手がける。製品開発から設計、品質管理、発送 までトータルにプランニング。さらに各業務工程の中に、最 新の技術を誇るソフトやロボットなどを導入。VR/MR ソ リューション事業にも乗り出し、徹底した合理化・効率化と ともに、鉄鋼業の未来を牽引する。





竹島鉃工建設株式会社

代表者/代表取締役社長 竹島 徹 設立/昭和46年(昭和22年創業) 資本金/2000万円 従業員/147人

〒643-0813 有田郡有田川町西丹生図285-1 TEL.0737-52-5454 FAX.0737-52-5961 http://www.takeshima-tekko.com Mail.soumubu@takeshima-tekko.com 事業内容/鉄骨、橋梁、水門、その他鋼構造物工事の設計施工等

株式会社ヨシムラファーム

乾燥及び貯蔵設備の導入によるにんにくの周年出荷事業

主力商品「桃山ホワイト」の周年出荷を目標に、乾燥・貯蔵設備を導入





補助事業

新設備導入で顧客からの周年出荷のニーズに対応 乾燥処理と冷蔵処理により、品質の向上も期待

農業生産法人「ヨシムラファーム」は、有機質肥料と土 を使用して、環境に配慮した資源循環農法を行っている。 同社の主力商品である生にんにく「桃山ホワイト」は、生 産量を年々増やし、新しい地元ブランドとして定着しつつ ある。同商品は9月に植え付けを行って5月ごろに収穫。そ の後、約3カ月間にわたって出荷、生鮮食品として関西圏 のスーパーや産直市場などを中心に販売される。

一方、店頭で並ぶにんにくのほとんどが、収穫後に乾 燥処理させたものだ。にんにくの日本一の産地である青 森県の生産者は、生にんにくを乾燥させて冷蔵貯蔵し、 年間を通して計画的に出荷している。和歌山県はにんに くの生産量が全国6位にも関わらず、乾燥・貯蔵設備を 整えて周年出荷をしている例がなく、ほぼ全量を生にん

にくとして市場に出荷している。そのため、出盛り期に 集中することで供給過多となり、結果、商品の値崩れを 起こしていた。

同社も同様に乾燥・貯蔵設備がなく、同設備を導入す れば生産体制を整えることができ、顧客からの周年出荷 のニーズに応えることが可能となる。具体的には3カ月 間で4万個(360万円)納品しているにんにくを、12カ月 で20万個(2,200万円)まで引き上げることができると 考える。また、乾燥・貯蔵率が上がれば廃棄率が下がり、腐 りなどの不良品も減少して顧客からの返品率も低下。結 果的に商品化率が現在の67%から80%程度まで上げら れるなど、利益率の向上が容易に予想されることから、同 事業を利用することにつながった。

成 果

周年出荷を可能とする事業体制を構築 発酵にんにくで新たな顧客層を開拓

青森県で採用されている乾燥・貯蔵設備を導入したことで、にんに くの周年出荷を可能とする事業体制を構築し、顧客のニーズに応えら れるようになった。小売店の棚を確保したことによる売上の増加、品 薄となる時期に国産のにんにくを供給することで販売単価が上昇、乾 燥処理と冷蔵貯蔵による商品の品質向上など、同事業前に立てた計画 が実現できている。

また、乾燥後に発酵処理する発酵にんにく(黒にんにく)の加工が可 能になったことで、乾燥処理したにんにくと異なる顧客層を開拓でき、 売上の増加につながった。



今後の展開

植え付け数を100万個の規模に広げ 関東への販路拡大を目指す

同事業により、同社はにんにく20万個を乾燥・貯蔵する設備を導入 することができた。安定した周年出荷が実現し、売上増加につながっ た結果、今後は植え付け数を100万個の規模に広げていきたいと考えて いる。

そのため同事業を行ったときも、今後の事業展開を踏まえ、設備導 入の追加を見越した形で、設置場所や配置場所を計画している。にん にくの生産数のさらなる増加や加工を目標に、環境に優しい農業を実 践するエコファーマーをキーワードにして、関東の小売店に進出する など、販路の拡大を目指していく。



有機質肥料と土を使用した 資源循環農法に取り組む

資源リサイクル事業を営むグループ会社が製造する有機質 肥料と土を使用し、環境に配慮した資源循環農法に取り組ん でいる。平成22年に設立、併せて農業生産法人資格を取得。 同年に県からエコファーマーの認定を受ける。桃、にんにく、 トマトを主体に、野菜や果物の栽培・販売を行い、にんにく の加工品づくりにも励んでいる。





株式会社ヨシムラファーム

代表者/代表取締役 吉村 英樹 設立/平成22年 資本金/300万円 従業員/7人

〒649-6122 紀の川市桃山町調月2826 TEL.0736-66-3229 FAX.0736-66-9557 URL. http://voshimurafarm.com/index.html

事業内容/リサイクル有機質肥料を使った資源循環農法による野菜栽培・加工

24 | ものづくり補助事業 わかやま成果事例集

平成 26 年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金

概要

事業の目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。また、【革新的サービス、共同設備投資】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】、【共同設備投資】の3つの類型がある。 その中で、【革新的サービス】については「1.一般型」、「2.コンパクト型」がある。

	一般型	コンパクト型
革新的サービス	・補助上限額:1,000万円 ・補助率:2/3 ・設備投資が必要	・補助上限額:700万円 ・補助率:2/3 ・設備投資不可
ものづくり技術	・補助上限額:1,000万円 ・補助率:2/3 ・設備投資が必要	
共同設備投資	・補助上限額:共同体で5,000万円(500万円/社) ・補助率:2/3 ・設備投資が必要 (「機械装置費」以外の経費は、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めておりません	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【革新的サービス】

- (1)「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、 $3\sim5$ 年計画で、「付加価値額」年率 3%及び「経常利益」年率 1%の向上を達成できる計画であること。
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

【ものづくり技術】

- (1)「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

【共同設備投資】

- (1) 本事業に参画する事業実施企業により構成される組合等が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3~5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。
- (2) 事業管理者は、事業実施企業が出資した組合、共同出資会社又は事業実施企業が社員である社団法人であること。ただし、申請時には組合等を構成していなくても、交付決定までに組合等を構成する場合は、その任意グループでの申請ができる。その場合、組合等として法人格を得た後、交付決定することとする。
- (3) 組合又は共同出資会社については、事業管理者として申請を行う以外に、事業実施企業として、補助事業に参画することができる。
- (4) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (5) 共同体内において、代表者が同一である、株式を支配している等、実質的に同一とみられる企業が2社以上存在する場合、申請できる社はそのうち1社とする。

補助率等

• 対象経費の区分

機械装置費、原材料費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、 雑役務費、クラウド利用費

補助率	補助上限額			補助下限額	
革新的サービス		ナービス	ものづくり技術	共同設備投資	
補助対象経費の 3分の2以内	一般型	コンパクト型	1.00058	5,00万円	100 万円
	1,00万円	700万円	1,00万円	1,000万円 	(500万円/社)

平成 26 年度

採択事業成果事例

26 | ものづくり補助事業 わかやま成果事例集

株式会社 一条

AR(拡張現実)技術を搭載した結婚招待状のWEBオーダーサービスの確立と全国展開

ビジュアルでメモリアルなメッセージを届ける新サービス





補助事業

WEB ハガキサービスで培った確かな実績を武器に 新技術を用いたより付加価値の高い招待状を提案

年賀状や喪中ハガキ、案内状など、WEBハガキサービ スを事業基盤に、印刷のデジタルワークフローを展開 する「一条」。もともと地元の和歌山を中心に、各種印 刷物を全般に取り扱っていた。10年ほど前からネット 印刷にシフトチェンジして、7年前からは「(株)アー ツ」と共同運営でWEBハガキサービスを行ってい る。現在、全国ネット通販の受注件数3年連続で第1位 を獲得。受注件数も開設当初の約3万7000件から、昨 年は約30万2000件と、右肩上がりで業績を伸ばして いる。

そんな中、顧客からの「ありきたりの印刷物ではな い、もっと付加価値の高い招待状が欲しい」という要 望に対して、AR (拡張現実) 技術に対応可能な印刷工 程を構築した。さらに、従来のWEBハガキサービスで 培った技術やノウハウを融合して、AR搭載結婚招待状 のWEBオーダーサービスを確立した。多様化するウエ ディングスタイルに対し、案内状や招待状についても、 日時や場所などを単に通知するだけでなく、思い出に残 るものにすることで顧客のオリジナリティーを全面に 打ち出す。AR自体はアプリを活用し、動画を通じて視 覚や聴覚に訴える自由度の高いサービスを提供すると いうものだ。

実施にあたり、現在の印刷工程をAR技術が搭載され た案内状・招待状を作成できるものに強化する必要が あり、印刷ラインの拡張も課題となった。そのために 導入したのが「コニカミノルタ製オンデマンドプリンタ bizhubPressC1100」と「シンカ・コミュニケーション ズ製AR ASPサービスクラウドソフト」である。

成 果

高速印刷と小部数印刷で生産性がアップ WEB ハガキサービスの事業基盤も大幅に拡大

印刷機とソフトウエアの導入には、操作方法や保守点検など、現場 スタッフへの研修を要した。オンデマンドプリンターの試運転ほか、 ARに関する品質の検証・結果のフィードバックを繰り返しながら、 同サービスの開発・商品化を実現するための体制を整えた。中でも、 これまでの印刷工程のキャパシティーでは、現行の WEB ハガキサー ビスが限界だったものの、コニカミノルタ製オンデマンドプリンタ bizhubPressC1100の導入により、生産性が大幅にアップ。毎分 100 枚の高速印刷とオンデマンド印刷機の特長である小部数印刷が可 能となり、WEB ハガキサービスの事業基盤も強化する形となった。



今後の展開

顧客獲得に向けた新たな課題の浮上により ウエディング以外にも視野を広げた展開を検討

今回、WEB ハガキサイトで顧客の利便性を追求してきた強みを生か し、付加価値の高い結婚招待状を提供することで、同業他社に対する 競争力の強化と先行者利益の獲得を狙った。全国展開を前に、県内の 式場等を中心に営業を開始。しかし現在、さまざまなAR技術がウエディ ング業界を席巻していることから、形勢を見守る傾向にある。顧客獲 得の新たな課題に直面しつつも、今後、年賀状等においても AR を用 いた新サービスの展開を検討。メモリアルなメッセージを届けたいと いうニーズは、年賀状等でも同じで、WEB ハガキサービス全般に向け て、活動の幅を広げることも視野に入れている。





リユース事業をもう一つの柱に 可能性に向かってチャレンジ

昭和 39 年創業、昭和 59 年に株式会社 一条を設立。時代 のニーズを先取りしつつ、可能性に向かってチャレンジする 考えのもと、WEB ハガキサービス事業を展開。品質、納期、 価格と WEB においても顧客の要望に応えながら、全国ネッ ト通販の受注件数3年連続第1位の地位を守る。またもう一つ の柱としてリユース事業を展開。ブランド古着買取販売「ス トスト」として、宅配買取も行っている。





株式会社 一条

代表者/代表取締役 谷口 新 設立/昭和59年(昭和39年創業) 資本金/1.000万円 従業員/32人 事業内容/印刷業務、リユース事業

〒641-0044 和歌山市今福4丁目4-38 TEL.073-423-6950 FAX.073-423-6955 URL. http://www.ichijyo.co.jp Mail. info@ichijyo.co.jp

株式会社 農業総合研究所

「農家の直売所」事業でITを活用した効率的な出荷配送システムの確立

農業経営を促進する物流と情報のプラットフォームを提供





補助事業

農産物を"顔の見える形"で消費者に届ける物流 出荷量を増やして競争力に弾みと市場開拓を目指す

農産物の流通を通じて、日本だけでなく世界の農業が 恒久的に継続する仕組みを構築する「農業総合研究所」。 その一つとして事業展開している「農家の直売所」は、 全国の生産者と提携し、同社集荷場に集まった新鮮な農 産物を、大阪や東京といった都市部のスーパーマーケッ トなどに、インショップ形式の直売所を設けて委託販売 するプラットフォームを提供している。生産者が農産物 を規格にとらわれず自由に生産し、自ら販売価格や販売 先を決めて出荷することにより、出荷による所得の拡大 や、こだわりの農産物を"顔の見える形"で消費者に届 ける物流を実現している。

その中で課題となっていたのが集荷量の確保。集荷場 へは生産者の直接持ち込みとなるため、それに要する手 間や時間、コスト、さらに相場情報や在庫状況の確認、

バーコードの打ち出しなども集荷場でしか行えず、決し て利便性や満足度の高いものではなかった。それらの問 題を解決するために開発・導入したのが、ITを活用した 効率的な「出荷配送システム」である。

同システムは自宅のタブレット端末やパソコン等か ら、生産者自身の売上データや販売先・商品相場など、 出荷に関する情報が簡単に取得できるというもの。さら に、バーコード発券機を購入すれば、集荷場に持ち込め ない生産者でもバーコードを商品に貼付し、全国のスー パーに出荷できる仕組みを構築。よりダイレクトな物流 と情報のプラットフォームを提供することで、スピー ディーに出荷を行い、時間やコストを削減。流通の観点 から効率的な農業経営の後押しを図り、集荷量の拡大に つなげた。

流通情報を蓄積して数値を"見える化" データを活用して計画的な農業経営を促進

テスト運用を経て、2017年夏頃から本格に始動。生産者は自宅や 所在地にいながら、好きな時間にどこからでも気軽に出荷準備を行い、 集荷場での作業時間を大幅に削減した。さらに農業経営を後押しする 同システムのメリットとして、毎日蓄積される販売データの利活用が 挙げられる。売上高や出荷額などの農業経営に必要な数値を"見える化" することで、産地にいながらにして売れ筋の比較・検討が可能になり、 データを活用した計画的な農業経営を促進している。



今後の展開

継続的な運用のためのコンテンツづくり 双方向の情報共有で新たな付加価値を創出

利用者の拡大はもちろん、継続的な運用のためのコンテンツづくり にも尽力。現在、登録生産者専用の農業資材販売サイトのほか、生産 者と消費者をつなげるシステムも構築。生産者と小売店および消費者 の双方向的な情報共有を可能にすることで、生産者にとっては新たな 所得を、小売店や消費者にとってはこれまで市場に乗らなかった農産 物を選ぶ楽しみを創出している。スーパーだけでなく外食産業とも自 由に取り引きができるシステム開発にも乗り出し、2018年秋頃から外 食向け会員制青果物EC「彩直」を開始。食の安全・安心につながるトレー サビリティの機能も開発・提供しており、今後さらに、新たな付加価 値にも期待が寄せられている。



時代に合致した農産物流通で 未来永劫持続する仕組みの構築

農業をクリエイティブにグランドデザインする会社とし て、平成19年10月に株式会社農業総合研究所を設立。 「Passion for Agriculture ~農業に情熱を~」を合言葉に、 未来永劫農業が持続する仕組みを構築。ビジネスとして農業 の未来を見据え、時代に合致した流通を提供しつつ、新しい ものを創造し、挑戦し続ける農産業創造ベンチャー企業を目 指す。





株式会社 農業総合研究所

設立/平成19年 資本金/212百万円 従業員/165名(2018年10月末現在) Mail:info@nousouken.co.jp 事業内容/「農家の直売所」事業 (委託販売システム・買取委託販売・卸販売)

代表者/代表取締役社長 及川 智正 〒640-8341和歌山市黒田17-4シャンドフルーレ2階 TEL.073-497-7077 FAX. 073-497-7013 URL.https://www.nousouken.co.ip

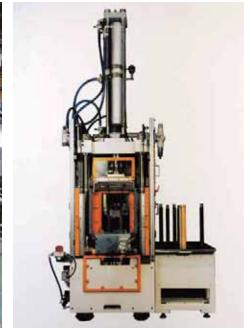
30 | ものづくり補助事業 わかやま成果事例集

株式会社坂本製作所

大型機(数値制御フライス盤)の導入による内製化計画

製品を精密化し、品質の安定性・安全性の向上を図る





補助事業

チェーン組立装置の受注に対応すべく 数値制御フライス盤を導入して、精度の高い製品を内製化

「坂本製作所」は産業機械の製造・製作をしており、 金属の高精度加工を得意とする。主な受注案件は単品 または多品種小口ットで、特に精度の高いチェーン製 造装置を部品加工から組立まで一貫して製作している。

現在、顧客の現有装置が老朽化による更新時期が来 ていることや、新規チェーンの開発が進められている ことから、同社へのチェーン製造装置の受注案件は多 く、高い精度での仕上げを要求されている。しかも、 顧客が生産しているチェーンは比較的大きなサイズで あり、主な大型部品の加工において、作業効率、品質、 製造コストなど、さまざまな課題が生じてきた。

これらの課題を解決するために同社では、顧客や工 作機械メーカーなど関連業者と協議したところ、現有設 備よりワンランクサイズの大きな数値制御フライス盤 を導入して、精度の高い製品を内製化することで、品 質の安定性・安全性の向上を図れることが分かった。

今回、同事業を活用して導入することを決めた数値 制御フライス盤は、加工形状のパターンが数多くイン プットされているため、必要最小限の数値入力のみで プログラムの作成が可能。プログラムの保存容量も大 きく、リピート製品においても、保存プログラムから の加工が容易にできるようになった。

また社内ローカルネットワークの構築により、加工 プログラムを一括管理し、プログラムの共有を図るこ とで、迅速な対応が可能となるなど、多くの利点が期 待できた。

成 果

「品質」「製造コスト」「作業効率」の問題を クリアし、高品質な装置を低価格で提供

山崎技研製の「ATC 付立型 CNC フライス盤」(YZ-500SGATC 型) の導入により、外注先への依存から内製化が実現。製造コストにおい て、外注の加工業者に依頼した場合の加工費や運賃、受入寸法精度検 査の人件費などを削減するとともに、社内での作業効率がアップする など、同事業を実施する前の課題が解決できた。

高品質な装置を低価格で提供できるようになり、部品の精度も向上 し、受注の拡大につながった。また、顧客のさまざまな要求に柔軟に 対応できる生産体制が整えられたことが、主要顧客から高い評価を得 ている。



今後の展開

あらゆる要求に対応する体制を整え 他分野からの受注の増大を目指す

同事業で、高精度の部品を低価格・短納期で製作できるようになっ たことを強みとして、顧客の他部署や系列子会社に参入し、他分野へ の受注案件の拡大を目指す。

また、複雑な部品を加工する技術、顧客の厳しい品質要求に応じる 力で、今後は加工技術の提案なども積極的に進めていきたいと考えて いる。

それに伴い、新規従業員の雇用にも力を入れることで、同社が誇る「加 工技術力」と「ものづくり力」のさらなる強化につなげていく意向である。



職人技とデジタル技術で 加工技術力を日々高める

昭和31年創業、昭和34年設立。産業機械の製造や製作を 行い、メインの受注案件は単品または多品種小口ット。金属 の高精度加工を得意とし、部品加工から組立まで一貫して製 作を受けている装置もある。長年従事する社員がほとんどで、 職人の技術と機械のデジタル化の融合により、加工技術力と ものづくり力を日々強化している。





株式会社坂本製作所

代表者/代表取締役 坂本 宗繁 設立/昭和34年 資本金/1.000万円 従業員/4人 事業内容/機械製造

〒640-8319和歌山市手平1-2-26 TEL.073-422-1668·073-436-1125 FAX.073-436-1126 Mail.skmt@cypress.ne.jp

桝谷精工株式会社

プレスブレーキの設備更新による生産性UP及び省エネ化

機械導入で生産能力を劇的にアップ、多種少量短納期化を目指す





補助事業

今後の顧客ニーズの多様化を見据え 最新のプレスブレーキで多種少量短納期化を促進

「桝谷精工」の事業の一部である板金部品加工は、金 属製の板材を切断、穴あけ、曲げ、溶接、組立などの 過程を経て製品として仕上げる加工方法である。同社 が使用している加工設備は、設置してからかなりの 年数が経っていて、加工前の金型のセットや、機械 の調整作業に時間を要するデメリットがあった。顧 客からの受注が同社の生産能力を超えるほど増加し ていることも考慮し、最新設備を導入することを検 討した。

曲げ加工で使用する最新のプレスブレーキ(板金機械) を導入すると、加工データの入力時間の短縮と、加工 作業時間のスピードアップが見込め、作業の中でも熟 練性の高い工程の能力を上げることができる。今後の

顧客ニーズの多様化も見据え、加工スピード、加工 精度、安全性、エネルギー効率を上げ、さらなる多種少 量短納期化を目指すために、同事業を実施した。

今回プレスブレーキ「ハイブリッドドライブベンダ -HG8025」(アマダ)を導入した結果、これまで課題 であった金型のセットや機械の調整作業などの段取 り時間、製品の加工時間を大幅に短縮することがで きた。また故障に対するリスクの軽減、設備の補正 能力と加工能力の向上、不良軽減など、多くのメリ ットが挙げられる。さらに指を挟むなど、作業中の危 険性を事前に検知するレーザー式安全装置によって、作 業者の安全性も向上することができた。

成 果

工程の一部の作業時間が90%も短縮に 高品質の製品をスピーディーに供給

今回の設備導入において特に高い成果として挙げられるのが、加工 データの作成と金型交換時の作業時間短縮である。加工データの作成 に関しては、画面操作で過去のデータを容易に呼び出せるため、入力 時間がかなりの割合で短縮された。金型交換時の作業時間では、簡単 な加工でも旧型機では平均350秒掛かっていたが、新型機では平均40 秒と87%近くも短縮。複雑な加工においては、90%を超える場合も あった。しかも省エネ化と生産コストの低減も可能となったことから、 従業員の給与にその効果が反映。給与総額が平成26年度から平成27 年度で17.5%アップしている。



今後の展開

得意分野の「多種少量生産」を強化して 顧客のニーズに対応、受注拡大を図る

同事業を導入し、機械の動作速度が今までの2倍以上になったことか ら加工速度も2倍以上になり、もちろん生産性も大きく向上している。 併せて動作精度も上がり、高品質の製品がスピーディーに供給できるよ うになった。

同事業に期待していた成果を実現したことで、今後は「多種少量生産」 という同社の得意分野をますます強化していきたいと考えている。同 時に、顧客からの多種多様な注文に応えられるようにするとともに、 設備の特長を生かして、より細かいオーダーにも対応。顧客との信頼 を深め、今後の受注拡大を図る。



ジェットストッカー製作や 製品の一貫生産体制が売り

昭和 42 年に鉄鋼業としてスタートし、昭和 54 年に会社 設立。現在は自社製品のジェットストッカー(自動収納棚) 等をはじめとする、産業用省力機械の設計および製作、業務 用空調機や機械部品の製造を行っている。また顧客のニーズ にワンストップで応えるべく、製品の企画・開発・製作・納品 まで、一貫生産体制にも強いこだわりを持つ。





桝谷精工株式会社

代表者/代表取締役 桝谷 将秀 設立/昭和54年 資本金/5.987万5千円 従業員/95人

〒649-6312 和歌山市川辺416-1 TEL.073-462-5011 FAX.073-462-5066 URL. http://www.msk-w.co.ip Mail.msk@msk-w.co.jp 事業内容/産業用省力機械の設計および製作、業務用空調機および機械部品の製作

株式会社 中峰農園

梅干の概念を覆す!甘くてとろける食感のプレミアムスイーツ梅の開発

飽和状態にある梅干業界に新しい風を吹かせる塩分3%のスイーツ梅干





補助事業

南高梅のやわらかくてとろける食感を生かし ご飯のお供ではなくスイーツとしての自立を目指す

日本一の生産量を誇る南高梅のふる里で、栽培から 加工、販売までを一貫作業で行っている「中峰農園」。温 暖な土地柄の紀州田辺市で生まれ育ち、商品名はその名 の通り「農家の梅」。昔ながらの白干梅からしそ梅、人気 のはちみつ梅のほか、梅ジャムや梅シロップ、梅エキス、 梅ニンニクなど各種梅商品を取りそろえる。

そんな中、同事業で取り組んだのは、梅干の新商品の 開発。現在梅は、梅干で消費されることが大半であり、 梅干メーカーの増加で小売業 (スーパー等) の販売競争が 激しく、利益の確保が厳しい状態にあった。そこで同社 では他社との差別化を図り、競争力を強化するため、新 分野の開発に乗り出した。目指したのは、超低塩(塩分 3%)でかつ、酸っぱさを限界まで抑えつつ、南高梅のや わらかくてとろける食感と融合した「スイーツ梅干」。本 来、白干梅であれば塩分20%が通常であり、はちみつ梅 でも塩分8%が、商品の味わいと品質を保持するために限 界の塩分濃度であった。今回の開発では、ご飯のお供と いうイメージを覆し、スイーツとしておやつ感覚で食べ てもらうために、根底から梅干を見つめ直し、製法自体 を改良。南高梅の最大の特徴である果肉の大きさ、皮の 薄さ・肉厚感を生かした「れもん梅」と「いちご梅」の スイーツ梅干を発表した。

それに伴い導入したのが「ピラミッドパウチ・ピロー 包装機」と「金属探知器付ウエイトチェッカー」。1粒 ずつ包装することで梅干のイメージを払拭し、若い人で も手に取りやすく食べやすいデザイン性を追求した。

特殊な包装と計量・検品を自動化することで 生産性の向上と信頼性の確保、低コスト化を実現

梅干を一粒ずつ包装することで、手軽に持ち運びができて、手が汚 れず、中にしっかりと空気が入っているから実が潰れる心配もない。 ただしこの包装を手作業で行うと非常に手間がかかり、スイーツ梅干 の低コスト化は難しい状況であった。しかし導入した同2機種を使え ば、梅干の投入から包装完了まで約2秒、さらに計量も検品も一瞬。 品質と生産性の向上による信頼性の確保とともに、低コスト化を実現 し、新しい市場開拓の弾みとなった。販路は自社通販のほか、道の駅 や高速道路のPAなどにも拡大。さらに夏場の熱中症対策に梅干が着目 されていることもあり、販売量は年々増加している。



今後の展開

はちみつ梅を追い越す勢いの「れもん梅」のほか 若者にターゲットを見据え新商品の開発にも着手

現在、スイーツ梅干の「れもん梅」が、昔から親しまれているはちみ つ梅を売り上げで追い越すぐらいの勢いである。ちなみに「いちご梅」 は色味に改善の余地があり、再検討中。今後、同事業で開発した塩分 3%のスイーツ梅干を、ターゲットである若者にも届けるため、新しい 味の開発に着手するとともに、販売ルートへの営業も強化。また近年、 夏の猛暑で梅干の消費量が増大していることや、さらに巨大台風や暴 風雨など畑への被害をもたらす異常気象も重なり、良質な南高梅の確 保が難しくなっている。自社ブランド全体の味わいと品質を守るため の原料確保も、これからの大きな命題である。





生まれも育ちも農家だからこそ 梅干づくりに励み、本物を届ける

田辺市上秋津で梅農家を営み、平成6年に設立。梅農家と して梅干づくりに励み、加工から販売までを手掛ける。看板 商品は自社ブランドの「農家の梅」。自然のままの素朴な味 わいが楽しめる白干梅やしそ漬け梅、かつお梅、さらに人気 のはちみつ梅や黒糖梅などシリーズで展開。最高級の南高梅 の味わいを生かしながら、適度なうす塩仕立てで仕上げ、健 康を気にする人からも支持されている。





株式会社 中峰農園

代表者/代表取締役 中峰 千世子 設立/平成6年 資本金/1000万円 従業員/25人 事業内容/梅の栽培・加工・販売

〒646-0001 田辺市上秋津2419 TEL.0739-35-0092 FAX.0739-35-0082 URL.http://www.noukanoume.com Mail.info@noukanoume.com

平成 27 年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金 概 要

事業の目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つの類型があります。 それぞれについて「1. 一般型」、「2. 小規模型」、「3. 高度生産性向上型」がある。

	革新的サービス	ものづくり技術
一般型	・補助上限額:1,000万円 ・補助率:2/ ・補助対象経費:機械装置費、技術導入費、運搬	
小規模型	・補助上限額:500万円 ・補助率:2/3以内 ・設備投資可能(必須ではない)・補助対象経費:機械装置費、原材料費、技術導入費、外注加工費、委託費、 知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費	
・補助上限額:3,000万円 ・補助率:2/3以内 ・設備投資が必要 ・補助対象経費:機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費		

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【革新的サービス】

- (1)「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、 $3\sim5$ 年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (3) (高度生産性向上型のみ)「IoT等を用いた設備投資」を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5%を達成する計画であること。

【ものづくり技術】

- (1)「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画(3~5年計画で「付加価値額」及び「経常利益」の増大を達成する計画)であること。
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (3) (高度生産性向上型のみ)「IoT等を用いた設備投資」を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5%を達成する計画であること。

補助率等

	補助事業	補助率	補助上限額	
類型	類型 対象経費の区分		(下限額)	
一般型 (革新的サービス、ものづくり技術)	機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費		1,000万円 (100万円)	
小規模型 (革新的サービス、ものづくり技術)	機械装置費、原材料費(※) 技術導入費、外注加工費(※) 委託費(※)、知的財産権等関連経費(※) 運搬費、専門家経費、クラウド利用費(※) (※=設備投資のみの場合は対象となりません)	補助対象経費の 3分の2以内	500万円 (100万円)	
高度生産性向上型 (革新的サービス、ものづくり技術)	機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費		3,000万円 (100万円)	

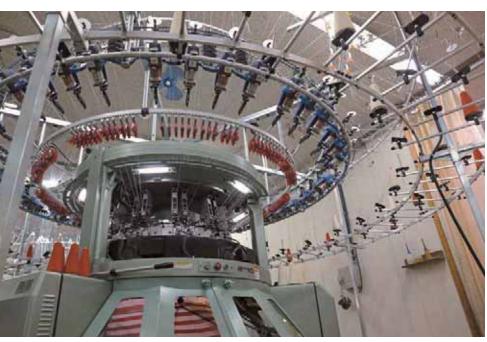
平成 27 年度

採択事業成果事例

丸和ニット株式会社

両面ジャカード編機導入による企画力と技術力の強化

国内ニッターとしてグローバルな視野を持ち独自性を追求





補助事業

創業80年を超える実績と技術力を持って 稼働困難とされる特殊な編機を国内初で導入

伸縮性に優れ、多様なサイズにもフィットするニッ ト。和歌山県はこのニットの一大産地であり、昭和9年 に創業の「丸和ニット」は、メリヤスの中でも「丸編(ま るあみ)」に特化した高い技術力と新しい発想力で、オ リジナリティーのある商品を創り出している。

しかし近年、繊維製品の低価格化で海外生産へとシ フトチェンジが加速する中、日本国内において丸編ニッ ターとしての「ものづくり」を持続し、生き残っていく ためにも、独自性の強い編地を製造し、グローバルな 視点で必要とされるメーカーに成長することが大命題 となった。弱体化する国内繊維業界の生産基盤の中で 事業を継続させるため、急務としたのが、自社の企画 力と技術力の強化。さらに次世代の技術者の育成であ る。その一環として、国内随一の丸編機製造メーカー

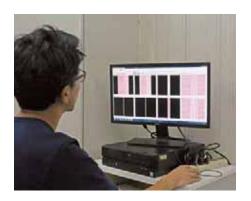
・福原精機製作所の「両面選針コンピュータージャカー ド編機」を導入することで、自社の編地企画力と国内ニ ッターとしての技術力を強化できると考えた。

導入したのは、両面選針コンピュータージャカード 編機「V-LEC3DGTY6型 (34"14G 1496本)。編地の 表裏両面にジャカード(柄編)を表現できる特殊な丸編 機で、その特殊性ゆえに国内でも扱えるニッターの数 は、ごくわずか。もともと同社は、従来よりコンピュ ータージャカード編機を編成する上で必要不可欠なデ ザインシステムと、それに精通するスタッフがいたこ ともあり、他社よりも優位に同タイプの編機を稼働 することができると判断し、国内初の導入に踏み切 った。

成 果

技術者と販売担当者が一致団結して 超ハイスペックな編機の構造と生産性を研究

同編機の導入において、同社の技術開発責任者はもとより、若手の 技術者を同行・同席させながら、社内研修のほか、福原精機製作所を 訪問しての技術指導等を複数回にわたって実施。試行錯誤を繰り返し ながら、高スペックな同編機の構造と生産性への理解を深めていった。 それと同時に、営業販売面においても、技術者と販売担当者が連携し、 開発した編地の特性やノウハウを共有することで、販売力と技術力の 強化体制を構築。流行や販売先の情報などを参考に、同編機のハイス ペックを生かしたアイデアを具現化することで、より複雑でオリジナ リティーのある編地ができ、展開の幅が広がった。



今後の展開

より編地商品のグレードを上げる環境を構築 差別化を図り新規顧客の開拓・獲得を目指す

現在、両面ジャカード(柄編)の編地や、丸編でありながら横編(セー ター編)のように見える編地、さらに同編機の「切替」機能を使った ピッチの大きいダブルニットなど、両面ジャカードの意匠性と切替機 能に、技術者や販売担当者らのアイデアを加えることで、より編地商 品のグレードを上げる環境が整った。しかし同編機は、使う人間の経 験値と想像力で、まだまだ未知数の可能性を秘める。今後、クライア ントからの要望のほか、販売ターゲットに見合う情報収集や編地づく りに力を入れ、他社との差別化を図りながら販売先の裾野を広げ、新 規顧客の開拓・獲得を目指す。





Made in WAKAYAMA を国内外に発信 昭和9年創業。80年を超える実績と積み上げた技術力で、

自社ブランド「Bebrain」で

独自性の強い編地を開発・製造。中でも、世界で唯一同社だ けが保有する編機「バランサーキュラー(商標登録済)」で編 まれた編地は、ニット特有の伸縮性と軽量感が魅力の型崩れ しにくい生地。この生地で立ち上げた自社ブランド 「Bebrain」では、企画から製造・販売まで BtoC の業務展開 で Made in WAKAYAMA のアイテムを国内外に発信する。



東京営業部 部長 辻 武志

丸和ニット株式会社

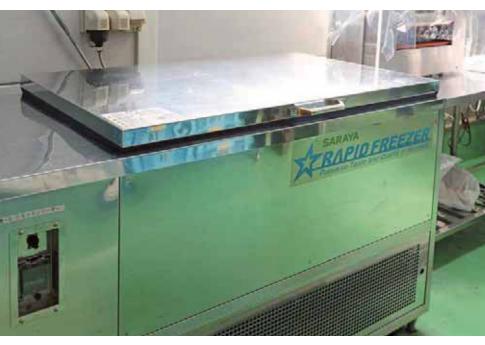
代表者/代表取締役 辻 博巳 設立/昭和26年(昭和9年創業) 資本金/2.500万円 従業員/60人 事業内容/丸編地の製造

〒641-0004 和歌山市和田1164 TEL.073-471-1231 FAX.073-471-1234 URL.http://maruwa-knit.co.ip

株式会社八旗農園

「あら川の桃」の風味を最大限に引き出したピューレ(一次加工)の製造に伴う低温殺菌処理加工技術の開発

フレッシュな味わいそのままに「あら川の桃」の加工品を国内外にアピール





補助事業

3種の製造機械の導入で加工品の質をアップ 製造加工技術を自社内で完結し、販路の開拓、拡大に

紀の川市桃山町を中心に生産される「あら川の桃」は、 良質の桃のブランドとして全国的に知名度が高い。「八旗農 園」は桃の生産や販売とともに、自社工場を持ち、ジュース やピューレ、コンポート(ゼリー)などの加工品の製造・ 販売も行っている。

桃の風味を最大限に生かした加工を目指し、同事業を使 って新機械を3種類導入することを決定した。「スチームコ ンベクション FCCMP201G」は、ピューレ製造過程で桃の 風味に影響する加熱殺菌処理を行う機械であり、「リキッ ドフリーザー RAPIDFREEZER SF20」は、加熱処理後の商 品の冷凍急速凍結保存をする。「小型秤充填機 8ZRE」 は、現在手作業で行っている充填作業を機械化にすること が目的だ。

この3つの機械を設置した場合、低温殺菌処理、ポリ フェノール酵素失活処理、急速冷凍処理が可能となり、自 然の風味を残したピューレと、解凍後も同じ品質を保つ冷 凍桃を使った新商品を製造できるようになる。また細菌の 増殖抑制により、衛生的かつ効率的な製造が行え、生産性 の向上にもつながると考えた。

同事業で冷凍桃と無添加ピューレの開発が成功すれば、 今まで要望があった取引先をはじめとした各食品製造業 者の受注が可能になる。また「あら川の桃」のブランドカ と品質の高さを持って、健康志向、高級志向など食にこ だわりを持つ購買層にも、インターネット販売やイベン ト出品などで、さらなる販路の開拓・拡大を図っていく 考えだ。

新しい商品アイテムが増加して 海外企業との商談も成功した

今回の補助事業の成果として、桃本来の風味を引き出した「冷凍桃」 と「無添加ピューレ」の開発の成功により、従来商品に加えて新しい商 品アイテムが増えた。また輸送に長時間掛かり、難しいとされていた 海外輸出も可能になったことをきっかけに、県食品流通課の紹介で香 港の企業との商談が成立した。

さらに、今までは殺菌処理を外部に委託していたが、自社で処理す ることができるようになり、外注費約90万円(平成27年度)の削減で 利益率がアップ。今後は自社工場での作業工程の効率化を図り、地元 の雇用促進に貢献できる体制を整備することを考えていく。



今後の展開

桃以外の地元産のフルーツ加工も行って 従業員の所得の安定や向上にもつなげる

紀の川市は桃だけでなく、多種多様なフルーツの名産地としても知ら れる。同社では、地元産のキウイやイチゴのピューレ、ダイスカットな ども併せて製造し、顧客に紀の川市がフルーツ王国であることをアピー ルして、さらなる販路拡大を狙う。

また桃の農繁期だけではなく、各フルーツの収穫期に合わせて加工品 を製造することで、従業員が年間を通して働ける環境が整い、同時に所 得の安定や向上にもつながると考えている。実際に、同事業の導入で、 平成 27 年度と28 年度の給与総額を見ると、1.8%のアップという結果 が出ている。



5品種の桃の生産と販売 自社工場で加工品の製造も

平成 21 年に桃の生産農家 3 人と流通業者で任意団体「八 旗農園」を組織し、4haの園地で「あら川の桃」5品種を生産 して、直営直売所で販売を行う。平成 26 年に「株式会社八 旗農園」に法人化。農産加工に取り組むため、国の 6 次産業 化の認定を受け、自社工場でジュースや、ピューレや冷凍桃 の製造・販売を手掛けている。





株式会社八旗農園

代表者/代表取締役 高平 昌英 設立/平成26年2月 資本金/998万円 従業員/正社員3人、パート約20人 Mail.hakki@bh.wakwak.com

〒649-6122 紀の川市桃山町元266-3 TEL.0736-79-3138 FAX.0736-79-3137 URL. http://www.hakkifarm.com/ 事業内容/桃の生産・加工・販売、果実・野菜等のピューレ受託加工

合名会社 丸正酢醸造元

伝統技法と現代技術の融合による醸造酢の生産性向上と輸出促進事業

古式醸造の味わいと品質をより向上させて世界中に丸正酢を発信





補助事業

モンドセレクション12年連続最高金賞を受賞 世界が認めた本物の味わいに生産性をプラス

140年以上の歴史と伝統を受け継ぐ老舗「丸正酢醸 造元」の丸正酢。昔ながらの合掌造りの醸造蔵で完熟 される手づくりの酢で、「誰でも造れる酢はつくりたく ない」の職人魂が、世界から認められる本物を生み出 す。看板商品は、モンドセレクションで最高金賞を12年 連続で受賞し、2009年と2012年、2015年、2016年 には国際最高品質賞を獲得した「那智黒米寿」。現 在、日本国内だけにとどまらず、世界の自然食愛好家 から親しまれている。

ヨーロッパへと販路を拡大した平成15年以降、海 外輸出が年商の15%を占めるようになり、輸出量は増 加する一方、従来の生産工程では求められる数量を期 間内に間に合わせることが難しく、断るケースも多々 あり、1年間で10件以上の謝絶実績が発生していた。

しかし醸造の仕込みに関しては、木桶を用いて手作業 で行うことが同社の最大の強みであり、味と品質を維 持するためにも醸造工程のプロセスを改善することは 困難。唯一手をつけられるのが、酢が完成した際に残 る沈殿物のもろみを搾りきる「圧搾」の作業であった。

今回、補助事業を使って「自動圧濾圧搾機660型48 段」を導入。今までは、創業以来長年使用していた「し ぼり槽(ふね)」を用いて、すべて人力で作業を行って いた。同作業では1日に2度程度、適度な加減で圧力 をかけてハンドルを締めていく必要があり、2人がか りで約2週間、この工程を根気よく繰り返していた。 一度の圧搾で搾りきる量は6石~6石5斗(1080~ 1170ℓ)。人的労力では時間及び量に限界があった。

味と品質を維持する醸造工程はそのままに 自動圧濾圧搾機で鮮度と牛産性をアップ

「自動圧濾圧搾機660型48段」は文字通り、濾過と搾りが同時に行え る機械。エアコンプレッサーで常時圧力をかけることができる。ただ し必要以上の力を加えず、余分なえぐみを搾り出さないよう改良を重 ねた。その結果、以前よりも味わいが良く、さらに7石~7石5斗 (1270~1450ℓ)を1~2日程度で完全に搾り終わるため、商品の鮮度 も量も従来より上がり品質も向上。鮮度という付加価値をつけて、よ りスピーディーにお客様のもとに届けることができるようになった。 また作業時間の大幅な短縮が作業効率の向上につながり、人的労力も ほかの商品製造に回すことができたことから、全体的に生産性もアッ プしている。



今後の展開

海外輸出は年商の約3割を占めるまでに成長 TPP 関連諸国や未開拓の国へも積極的に営業を開始

フランスやベルギー、イタリアやオランダ、イギリス等、今まで生 産能力の頭打ちで大量注文に対応できずにいた国々へも供給を開始。1 年目から 5~10% の売り上げ増を見込んでいた。現在、同社の海外輸 出は年商の約3割を占めるまでに成長。今後、さらなるマーケットの 拡大のほか、品質と供給の安定化、また高品質な新商品の開発・製造 にも取り組めるようになった。次なるマーケットに見据えているのは アジアを中心に、マレーシアやドバイなど。TPP 関連諸国や未開拓の 国へも積極的に営業を開始予定。新商品としては、飲む点滴として知 られた甘酒を使いリニューアル商品の発表を検討している。



熊野の聖地と那智霊山の伏流水 本物だけが生む伝統の味わい

明治12年創業の老舗、丸正酢の醸造元。原料はすべて自然 のものを厳選し、那智霊山の伏流水と伝統の古式醸造を用い て、世界から認められる本物をつくり出す。90歳を超える社 長を筆頭に職人は4人。醸造元の命でもある菌の性格を見極 め、毎日発酵状態を見ながら工夫と手間をかけて仕上げる。 お客様に喜んでもらうことを第一に、伝統を守りつつも攻め の姿勢で、現在商品数は25種類。





合名会社 丸正酢醸造元

代表者/代表取締役 小坂 晴次 設立/明治12年 資本金/100万円 従業員/10人 事業内容/丸正米酢の醸造・販売 〒649-5331 東牟婁郡那智勝浦町天満271 TEL.0735-52-0038 FAX.0735-52-6551 URL.http://www.marusho-vinegar.ip Mail.support@marusho-vinegar.jp

平成 28 年度補正 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金 概 要

事業の目的

国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つの類型がある。また、それぞれについて、「第四次産業革命型」「一般型」「小規模型(設備投資のみ、試作開発等)」の事業類型がある。補助率は、補助対象経費の3分の2以内。

事業類型対象類型		革新的サービス	ものづく	り技術
第四次 産業革命型	・設備投資:必要	・補助上限額:3,000万円 ・補助率:2/3以内 ・設備投資:必要 ・補助対象経費:機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費		
一般型	・設備投資:必要	・補助上限額:1,000万円 ・補助率:2/3以内 ・設備投資:必要 ・補助対象経費:機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費		※雇用増(維持)をし、5%以
小規模型	設備投資のみ	・補助上限額:500万円 ・補助率 ・設備投資:必要 ・補助対象経費:機械装置費、技術導力	室:2/3以内費、専門家経費、運搬費	上の賃金引上げについては、 補助上限を倍増 ※最低賃金引上げの影響を
小枕摆坐	試作開発等	・補助上限額:500万円 ・補助率: ・設備投資:可能(必須ではない) ・補助対象経費:機械装置費、技術導入費、 外注加工費、委託費、知的財産権等関連経	専門家経費、運搬費、原材料費、	受ける場合については、補助 上限をさらに1.5倍

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【共通】

- (1) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (2) (第四次産業革命型のみ)「IoT·AI·ロボットを用いた設備投資」を行うこと。

【革新的サービス】

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス 提供プロセスの改善であり、 $3\sim5$ 年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

【ものづくり技術】

「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、 生産性を向上させる計画(3~5年計画で「付加価値額」及び「経常利益」の増大を達成する計画)であること。

補助上限額等

車架松叫		補助上限額(下限額)			
		雇用・賃金拡充による上限額の増額		4-1- n.t. ada	
事業類型	基本額	(1)雇用増(維持)・5%以上の賃金引上げ計画に基づく取組み	(2)(1)に加え、最低賃金引上げの影響を受ける場合	補助率	
第四次産業革命型	3,000万円(100万円)	補助上限額の	補助上限額の増額設定なし		
一般型	1,000万円(100万円)	2,000万円(100万円)	3,000万円(100万円)	補助対象経費の 3分の2以内	
小規模型	500万円(100万円)	1,000万円(100万円)	1,500万円(100万円)	0310220(1)	

平成 28 年度

採択事業成果事例

有限会社 レストランフライヤ

創業85年の伝統をもとに最新設備導入による中食事業の高度化

量産化で伝統の味を全国に!雇用の拡大と経済の活性化を図る





補助事業

フライヤファンの要望に応え中食事業を展開 新工場の設立で市場ニーズに応える体制づくり

創造性と独自性を洋食に取り入れながら、時代を超え て愛され続ける「レストランフライヤ」。創業は昭和8年。 開業当初から変わることのない独自の製法で、時間を惜 しまず、徹底的に味にこだわり歴史と伝統を守り続ける。 そんな中、中食事業(レトルト食品製造販売事業)に乗り 出したのは約10年前。県外へ出た人たちの「もう一度、 懐かしいフライヤの味を…」という思いに応えたものだ った。レストラン運営の傍ら、シーラー(真空包装機)と レトルト装置を利用して商品を開発・生産。しかし販路 の拡大やインターネットの普及などにより需要が増え、 従来の小規模な製造設備のまま、レストラン運営と両立 させることは困難と判断。さらにラベルや箱、資材、要 冷蔵の商品在庫等、それらをストックする場所の確保も

難しくなり、新たな専用ライン(新工場)の設立に踏み

同店の代名詞である特製ドビソースの味を守りつつ、 生産量の増加を目指すため、レトルト殺菌機や蒸気ボイ ラー、金属探知器のほか、衛生管理設備や空調換気設備、 自動真空包装機を導入。これにより代表商品である「厚 切り牛タンシチュー」、「ミンチボールステーキ」、「特選和牛 ハヤシビーフ」、「特選和牛昭和カレー」、「濃厚ポタージュ スープ」の5種類の製造が従来の3倍になり、賞味期限も 2倍に延長することに成功。創業時より支持される洋食 の味の量産化が可能になったことで、市場ニーズに応える 体制を確保。伝統の味を美味しく安全に提供することが できるようになった。

熟練技能のマニュアル化で作業効率アップ 調理師の育成など新規の雇用創出にも貢献

同事業の導入により、高品質なまま安全性を強化し、市場ニーズに 応える量産化を可能にしたほか、収益を向上させる作業の効率化と、 労働環境の改善も併せて図っている。効率化については約85年続く製 法を一から見直し、味のクオリティーを保ちつつ製造時間を短縮。 HACCPに準拠する設備を構築するとともに、専門家の助言を受けな がら製造過程のマニュアル化に取り組み、作業効率と生産量をアップ。 生産量の拡大により一括仕入れが可能となり、原価も低減した。また 新工場の設立により、地元の雇用も創出。調理師の育成にはじまり、 梱包・出荷のためのパート等も随時、地域で募集している。



今後の展開

成長市場の中食業界で和歌山の名を全国に 知名度の向上で地域経済の活性化にも寄与

現在、中食市場は単身世帯や高齢者の増加、女性の社会進出などに より、2015年には6.6兆円規模と、成長市場であると考える。そのた め全国規模でのさらなる販路拡大を目指し、商談会や物産展等にも積 極的に参加。自社ホームページやソーシャルメディア等を使い、ネッ ト販売にも力を入れている。また紀州うめどりや南高梅など、和歌山 の名産品を用いた新商品の開発にも着手。もともと地元農産物を中心 に事業を展開しており、これまでに培った生産者とのネットワークや 技術力を生かして、和歌山の農畜産物の生産拡大や知名度の向上など、 地域経済の活性化にも寄与できるものと考える。



伝統を受け継ぎ歴史を紡ぐ 時代を超えて愛される味わいを

昭和8年、創業者・河内伊三郎によりフライヤ食堂を創業。 戦後、空襲で消失した店舗を再建。現在もレストランフライ ヤとして、創業以来変わらない本格的な洋食を地域の皆様に 提供している。85年余り、世代を超えて愛される味は、厳選 した素材と自家製ソース。伝統を受け継ぎつつ和歌山の食の 代表として、今後も全国・世界へと挑戦を続ける。





有限会社 レストランフライヤ

代表者/代表取締役 山井 牧 設立/昭和8年 資本金/500万円 従業員/20人 事業内容/飲食事業とレトルト食品製造販売事業

〒640-8128和歌山市広瀬中ノ丁1-13 TEL.073-422-0115 FAX. 073-460-1501 URL.http://friya.co.jp Mail.info@friya.co.jp

株式会社 丸昌

業務用寝装品検査システム導入による品質及び顧客サービス向上計画

数値でみせる確かな品質保証を革新的サービスとして提供





補助事業

専門機関の性能検査と同様の特殊試験機をそろえ 独自の強みを最大限に生かし価格と品質を保証

「丸昌」は全国47都道府県のホテルや病院、施設を 中心に、ベッドリネンや患者衣、ガウン、浴衣、バス リネンなど寝装寝具を提供。リネン製造においては、顧 客の要望にいち早く対応するため、中国に自社工場を 設けるなど、独自の強みを生かした価格と品質を第一 主義に、安定した商品提供を通じて信頼を得ている。

現在、リネンサプライヤー(寝装品を医療機関や宿 泊施設に洗濯込みでリースする業者)に向けた販売の 拡大のほか、色や柄、素材に対するニーズの多様化で 品種が増加したこともあり、生地など素材確保のため の輸入国が広がりつつある。これまで以上に品質管理 が複雑化する中、今までは特殊試験機がないため、外 部専門機関に性能検査を委託していた。毎週40アイ テムを上回る輸入製品の検査は、時間的にも費用的に

も難しくなってきたことから、特殊試験機の設備投資 を検討。外部委託していた各種試験を内製化し、自社 での試験頻度を高めつつコストを削減。さらに各種試 験データの蓄積や分析は、品質管理だけでなく、自 社ブランドの品質証明にもなり、革新的なサービス となる。

導入した特殊試験機は「繊維混用率測定用振とう機」、 「精密万能材料試験機」、「織布エルメンドルフ形引裂 度試験機」、「試験用洗濯機」、「洗濯堅牢度測定機」、「染 色物摩擦堅牢度試験機」、「汗試験機」など10機種。専 用人員の確保については、導入後すぐに経験者の採用 が決まり、和歌山県工業技術センターでの技術研修と 技術指導を経て、早期稼働を実現させた。

成 果

性能検査の内製化によりコストが大幅に削減 品質を向上させつつ、製品の短納期も実現

今回の導入により、外部専門機関に委託していた性能検査のコスト カットを実現。今まで1アイテム3万3800円かかっていた費用を仮に 40アイテム/週とした場合、年間約7000万円となり、専用人員の人 件費負担(年間約500万円)を考慮しても大幅な削減といえる。また内 製化したことでの大きな利点は、検査必要日数の短縮。外部委託の場 合、試験体の往復期間を含め、通常1週間以上であった所要日数が2 ~3日で検査を行うことができた。これにより顧客への納品も同時に 短縮することができ、品質を重視する同社の最大のセールスポイント を維持しながら、小口ット・短納期が可能となった。



今後の展開

価格重視から品質や耐久性を求められる時代へ 各試験データの品質保証を武器に東京五輪に挑む

業界の傾向として、今までは価格のみが重視され、品質や耐久性に 重きをおくことが少なかった。しかし最近では、耐洗濯性能などの要 求も高まっている。そういった時代背景を踏まえ、同社はリネンサプ ライヤーの現仕入先と価格だけを競うのでなく、新たな革新的サービ スとして品質保証(各試験データ)を掲示することで、新規顧客の獲 得を目指す。また品質保証を付けることで「丸昌ブランド」の定着を 図り、さらなるデータの蓄積により品質管理を強化することで、新規 取引先および既取引先を含めた売上を伸ばすとともに、東京オリンピッ クを見据えた競合他社との差別化を図る予定である。



顧客からの信頼を第一に 安心・安全・安定を追求

病院や施設、ホテルなどに向けたリネン製品を製造販売す る企業として、昭和48年に創業。平成5年には介護事業部門を 立ち上げ、取り扱う寝装寝具は年間 700 万点を上回る。「す べての人が、きっと、どこかで触れている」を合言葉に、安心・ 安全・安定を追求し、限りないチャレンジで一歩一歩前進。 顧客からの信頼を第一に、企画提案から製造販売まで「お客 様から選ばれる企業」を目指す。





株式会社 丸昌

代表者/代表取締役 辻 茂治 設立/昭和48年 資本金/1.000万円 従業員/207人(海外関連会社含む) Mail.info@marusho-net.com 事業内容/寫装寫旦の製造販売

〒641-0004 和歌山市和田115 TEL.073-471-3768 FAX.073-472-9519 URL.http://marusho-net.com

有限会社 樽の味

発酵技術を駆使した原材料内製化による無添加甘酒の製造プロセスの変革

米麹を内製化で確保!甘酒の原料から販売まで一貫体制を構築





補助事業

空前の甘酒ブームで原料の米麹が不足する事態 健康と無添加にこだわり完全オリジナルの甘酒完成

お客様に美味しさと健康を届けることを事業コンセプ トに、手間はかかっても添加物を一切使用しない昔なが らの製法で本物の味わいを提供する漬物屋「樽の味」。看 板商品は、長期熟成発酵法により植物性乳酸菌を利用し て作る「古漬け沢庵」であり、この沢庵づくりの中で生ま れる発酵済みのぬかを活用した「甘酒・発酵キット」を商品 化し販売していた。その後、購入者からの「樽の味の甘酒 が飲みたい」という要望に応え、甘酒自体を商品開発し 「糀の甘酒」が生まれた。

しかし発売と同時に、空前の甘酒ブームが巻き起こり、 需要が追いつかず欠品によるチャンスロスが起きた。そ の原因が「米麹」の仕入れの限界である。従来の製造法で は、仕入れた米麹を使って甘酒を作っていたため、ブーム

の影響で外注先も米麹自体の供給量に需要が追いつかず、 限界に達していた。チャンスロスをなくすためにも、自 社で原材料となる米麹を確保することが急務となり、生 産工程の内製化を図った。

補助事業を活用して購入したのは、米麹の自社生産に 必要な設備。米を洗浄する「洗米機」、浸漬および蒸米工 程で使用する「蒸米機」、蒸米後の米を発酵しやすい適温 に冷やす「放冷機」、放冷後の種付けが完了した米を適温 で発酵させるための「発酵機」、乾燥した生麹の日持ちを 向上させるための「乾燥機」、さらに蒸米機の蒸気を作る ために必要な「ボイラー」の6機種を導入した。これによ り洗いから乾燥までを内製化し、甘酒を原料から完成ま で一貫して作れるようになった。

成 果

和歌山の気候や風土などに合わせて試行錯誤 味わいも出荷量も利益率もアップで短納期を実現

導入に先駆けて行ったのは、米麹づくりの基本工程を把握すること。 それについては東北の同業者にお願いして研修へと赴いた。ただ機械 の種類から気候、原料の米など、すべてに違いがあるため、導入当初 は試行錯誤の繰り返し。しかし同社の漬物づくりのプロが集まること で、和歌山の気候や風土に合わせた、より精度が高く、糖度、味わい ともに満足できる米麹の生産に成功した。成果としては従来月1万本 程度だった出荷を、2倍の約2万本を安定して出荷。これにより、事 業の展開をより拡大することができ、甘酒の利益率が大きく改善した ほか、受注から発注まで大幅な短納期化を実現している。



今後の展開

楽天の甘酒ジャンルでランキング第 1 位を獲得 新シリーズ「幸せ食生活」ほか、米麹の新商品を展開

販売においては、楽天の甘酒ジャンルの中でデイリーランキング第 1位を獲得するなど、継続してリピートいただいているものの、甘酒ブー ムは落ち着きつつある。米麹自体、甘酒だけでなく、多岐にわたり原 材料として使用できる食品であることから、新製品の開発にも乗り出 している。今年、第1弾として新シリーズ「幸せ食生活」の、牛乳も小 麦も使用していない米麹で作った「ホワイトソース」を発売し、秋には 同シリーズの「麹の鍋つゆ」を発表。いずれも無添加の発酵の力を生か した逸品で、アレルギー等で困っている人たちの助けにもなればと、 米麹の新しい使い方を模索している。



自然の力と味わいを大切に 昔ながらの製法で作る清物

平成11年設立。本物の自然の味を大切に、昔ながらの製法 で漬物を製造・販売している。大根は天日干しで乾燥させる ところから始まり、無添加で化学的な調味料を一切使用せず、 180日以上かけて熟成発酵させるというこだわり。定番は昔 懐かしい酸っぱさが特徴の「いなか漬」と、愛用者の多い「お ばあちゃんの味 熟成ぬか床」。美味しいと健康をテーマに、 本来の自然の味わいを届けている。





有限会社 樽の味

代表者/代表取締役 細田 幸治 設立/平成11年 資本金/300万円 従業員/20人 事業内容/清物製造業、販売

〒644-0003 御坊市島661 TEL.0738-23-1493 FAX.0738-23-1497 URL. https://www.tarunoaii.com Mail.info@tarunoaji.com

株式会社岡田織物

自動裁断機導入による合理化及び企画提案型企業への変革

ハイクオリティーなフェイクファー生地の裁断をデジタル化





補助事業

裁ちばさみを使った手作業からファー専門の裁断機へ デジタル化で効率的でスピーディーな生産を目指す

明治時代からパイル織物の生産地として名高い高野 口町。「岡田織物」は昭和7年に同町に開業し、平成3年 に株式会社として設立。現在は高品質のフェイクフ アー生地の生産会社として国内外で知られている。

フェイクファーとは、本物の毛皮を模して作られた 合繊生地のこと。同社が取り扱うフェイクファー生地 は400から500種類と大変幅広く、パイル(毛)の長さ も5mmから45mmまでとさまざまである。

ファー生地は主に秋冬ファッションに取り入れられる 特性から、一年のうちでも7~9月に依頼が集中する。生 産の工程の一つに裁断があるが、パイルが長いファー生 地は機械での裁断が難しく、社員が裁ちばさみを使って 一枚一枚手作業でカッティングするため、多くの作業時間

が必要とされていた。同時期にクライアントからサンプル 作成のオーダーも多数あったが、製作時間が掛かるため、 ほとんど断っている状況にあった。

同社は効率的な生産を狙い、補助事業を活用して自 動裁断機を導入。ニット編み機の製造で知られる「島 精機」(和歌山市)の協力を得て、ファー素材専門の自動 裁断機 (P-CAM161S) を購入した。同時に、デザインシ ステム (SDS-ONE APEX3-4) も導入し、パターン (型 紙)をデジタル化して自動裁断機と連動させることで、 よりスピーディーな生産を目指した。機械やシステムを 導入する際には、社員2人が自動裁断機を作動させるデ 一夕作成の講習を受講し、データ変換や型紙作成などを 学んで、社内にその技術を取り入れた。

成 果

多種多様なファー生地の裁断が可能に デジタル化で作業時間も劇的に短縮

導入した自動裁断機の裁断システムは、裁断台の下から生地を吸引 し、裁断面を平らにして固定刃で表面を切っていく。150種類以上の パイル生地の裁断テストを行って、ベストな刃圧データを構築したこ とで、機械による多種多様な生地の裁断を受けることが可能となった。 また、パターンをはじめとする裁断情報をデジタル化することで、配 送や、厚紙を使った製作などが省け、工程時間や人的ミスが減少。作 業時間の都合から断っていたサンプル作成も、これまでなら郵送に2 日と作業に5時間かかっていたが、導入後は発送がなくなり、62分で 可能となり劇的な変化を見せるなど、想像以上の成果を上げた。



今後の展開

パーツの裁断を販路の一つとして拡大 「生地屋」として生産をコーディネート

このたびの自動裁断機の高度な能力により、同社でできる裁断量が 倍増されることに確信が持てるようになった。そのため、今後は生地 の販売のみならず、クライアントが望むパーツの裁断も販路の一つと して広げる意向だ。パーツの裁断は裁断工賃が上乗せされて売上のアッ プにつながり、輸送費や荷具梱包費を削減できるメリットも期待でき る。さらに長年の「生地屋」としての知識や技術、プライドで、製品 の企画・コーディネートにも力を注いでいる。

また、縮小の状況にある国内の裁断・縫製業者と連携を取りながら、 事業を拡大していきたいと考えている。



高品質のフェイクファーで 地域の織物産業にも貢献

パイルの町、高野口町に昭和 7年に織物業として創業。婦 人衣料用のフェイクファー (人工毛皮) 生地で広く知られ、 海外高級ブランドにも多数採用されている。生産のみならず、 自社で衣料の開発・販売も実施。また、製品の企画から縫製、 刺繍、染色などの各工程を担うコーディネートを行い、地域 のものづくり産業の振興にも貢献している。





株式会社岡田織物

代表者/代表取締役 岡田 次弘 設立/平成3年4月 資本金/1.000万円 従業員/3人 事業内容/フェイクファー生地の製造、製品販売

〒649-7207 橋本市高野口町大野757 TEL.0736-42-2864 FAX.0736-42-2313 URL. http://okadatx.shop-pro.ip/ Mail.okadatx@eagle.ocn.ne.jp

平成 24 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	株式会社松田商店	ペットボトル再資源化Aフレーク製造ライン工場設備投資計画	
2	株式会社インテリックス	市場ニーズ。商品開発迅速化計画	
3	有限会社キセイテック	ヒノキチオールの海外向け拡販のための製法合理化投資	
4	柏木鉄工株式会社	設備と技術を持った中小零細企業のネットワーク構築事業	
5	紀州技研工業株式会社	多言語対応の産業用インクジェットプリンターの開発	
6	株式会社ホタニ	新方式による工業用特殊モノフィラメントの生産事業	
7	紀和化学工業株式会社	ナノサイズ微粒子染料水性分散体の開発	
8	新中村化学工業株式会社	高付加価値オリゴ糖の効率的合成法の開発	
9	株式会社ワメンテクノ	抄造 (紙抄き) 法による高熱伝導率樹脂製品の開発	
10	株式会社アイスティサイエンス	残留農薬迅速前処理法における固相カートリッジおよび周辺部品の開発	
11	株式会社ミラック	非接触型ロール径及びロール形状測定装置の試作開発	
12	ニッティド株式会社	島精機のホールガーメント機の導入による生産プロセス強化事業	
13	株式会社保田鉄工所	CFRP 金型の開発事業計画	
14	エコ和歌山株式会社	パイル織物を利用した油分対応型の排水処理システムの研究開発	
15	南海スチール株式会社	耐震力向上のための全強度溶接機の導入	
16	三木理研工業株式会社	繊維処理薬剤の高品質化、生産性向上	
17	株式会社寿精密	シールリング生産における小口化、短納期化	
18	日新化学株式会社	高齢者向けに特化したヘアケア商品の開発	
19	株式会社興和製作所	溶接用開先加工機導入による生産性向上	
20	アイレス電子工業株式会社	生産販売統合管理システム導入による競争力の強化	
21	スガイ化学工業株式会社	高屈折率材料としてのジナフトチオフェン誘導体の開発と事業化	
22	株式会社湯川鋳造所	基幹業務システム構築による生産プロセスの強化、製品の高品質化	
23	築野食品工業株式会社	フェルラ酸の新規製造 一醗酵・酵素法による検証一	
24	モリックス精工株式会社	生産ニーズ対応強化計画	
25	林然糸株式会社		
26	株式会社早和果樹園	早和果樹園ボリューム・ゾーン「有田みかんゼリー」開発	
27	株式会社メイワ		
28	阪和電子工業株式会社	静電気可視化装置の開発	
29	恵和株式会社	環境調和型バイオマス素材によるガラス代替フィルムの開発	
30	株式会社橘化成工業	「マスティース・スタイトによるカラストでロンストでは、アスティースの開発 インクジェット方式三次元造型機を用いた新商品試作開発と真空成型における小Lot 生産用型としての活用	
31	株式会社個に成工業 株式会社西沢インダストリー	1フラフェアドガエニ次元追至後を吊いた制筒印紙下開発と真王成至におりるが上げ、王座吊至としての沿吊 生産プロセスの強化による低コスト化の実現	
32	大洋鋳造株式会社	造型砂と鋳造品の分離作業に於ける品質及び生産性の向上	
33	中野BC株式会社	恒空砂と瞬垣中の万龍下未に戻りる町貝及び生産性の同工 加熱処理を用いた和歌山県産ショウガ加工品の試作品開発	
34	湯浅醤油有限会社	生 (なま) 醤油 (天然醸造国産原料蔵仕込み) 製造	P6
_			PO
35	アクロナイネン株式会社	エンジン用ピストンのピン穴特殊形状切削加工用ピン穴加工機の導入	
36	太洋工業株式会社	高難易度品加工が可能な製造設備の導入	
37	株式会社丸和	生産効率の向上を目的とした環境に優しい最新機械の導入	
38	株式会社トガミ	超短納期対応 NC 加工機導入計画	
39	有限会社モリヤ	ユニット家具小ロット多品種量産型計画	
40	ウィンナック株式会社	精密鋳造金型の型彫り行程における加工精度向上と金型部門の生産能力向上	
41	有限会社アークコーポレーション	巨大地震津波避難誘導アークライトの自動点灯装置及び遠隔装置の開発	
42	有限会社ハヤシ・シザース	多品種、少量生産及びカスタム製作短納期計画 医薬業用に道 3 された CS1 129 パーコード対応システムの道 3	
43	笠野興産株式会社 # ** 会社	医薬業界に導入された GS1-128 バーコード対応システムの導入	
44	株式会社平山	紀州産の桧間伐等を集荷加工し、韓国市場に内装用、壁材として、輸出する新事業システムの構築	
45	寺本パイル織物株式会社	高品質織物の開発と国内生産織物の拡充	
46	株式会社一水産	賞味期限の長い釜揚げしらすで他社製品との差別化を図る	
47	株式会社尾高工作所	炭素水素系ワンバス式全自動洗浄機導入による短納期化、低コスト化事業計画	
48	有限会社西出水産	水産魚類の冷蔵・冷凍による高品質長期維持保管	
49	株式会社小川製作所	「多品種少量生産市場への参入拡大」	
50	株式会社スミロン	幼稚園、ユニット型老人施設・等で発生する使用済み紙おむつ処理機開発	
51	株式会社中矢パイル	ジャガードパイル織物の少口ット生産ならびに短納期を可能にする計画	
52	アイエムティー株式会社	顕微鏡観察用試料の研磨前処理装置の試作開発	
53	株式会社シガ木工	桐箪笥(きるだんす)の表面の塗装することによる新商品の開発(多色、多目的化)	
54	ワコン株式会社	「医療品向け定温輸送システムの開発」	
55	株式会社中原製作所	新商品開発及び生産管理システム導入による競争力向上	
56	大阪精機工作株式会社	コルテスト試験片の精密研磨機械開発によるコスト合理化	
57	福原ニードル株式会社	焼戻炉設備導入による生産効率の改善	
58	有限会社横田工作所	ドリルマシンの導入による鋼構造物の大型化・短納期化への対応および生産性の向上	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
59	株式会社坂口製作所	乾式バリ取り機試作開発によるアルミドロス除去の実現	
60	有限会社藤村産業	マイコン制御型ダブルエンドテノーナによる最先端トイレブースの製作	P8
61	ナカオ工業株式会社	技術及び製造能力向上による一貫生産体制強化計画	
62	株式会社ユーテック	段ロール寿命を従来の3倍以上に延ばす加工方法の確立	
63	丸長水産株式会社	紀州産干し梅製造方法の研究開発	
64	西原精工株式会社	スマート家電向けパワーインダクタ製造装置部品の微細化実現	
65	紀之川木工所	高背丈、高品質ドア製造工場化計画	
66	株式会社的場農園	デパック冷凍機(静電式エア急速冷凍機)の導入による高品質冷凍食品製造事業。	
67	金剛ダイス工業株式会社	切削加工を用いた小径穴冷間鍛造金型の短納期化と高精度化	
68	株式会社三晃精密	新検査システム導入による金型部品の生産性向上	
69	株式会社森下メリヤス工場	コンピュータ制御ローゲージ編機の活用及び加工技術向上による「ジャージ用途拡大新製品開発」	
70	協業組合太成	新しい着色技術による画期的なプラスチック製ルアーの開発と独自ブランドの確立	
71	東和産業株式会社	ユーザニーズからの洗濯用品の新規開発	
72	昌永理研株式会社	生産プロセス強化による競争力増強と性能向上による顧客ニーズ獲得	
73	株式会社共栄テクシード	部品生産の効率化、高精度化の為の 5 軸制御縦型マシニングセンター導入計画	
74	有限会社大星産業	デザイン性の高い皮革製品の迅速な商品化に寄与することで競争力の強化を図る	
75	株式会社ホロン精工	大型プルス導入による大型(大口径)ゴムシール部品の開発及び量産化	
76	株式会社大和化学工業所	新商品のプロダクトデザイン設計と製造から販売までのライン構築事業	
77	正和産業株式会社	自動車用ゴム製シール部品の開発による新規顧客への拡販	
78	株式会社全笑	廃棄原料(柚子絞りカス)の製品化による新たな製品供給可能産地の確立	
79	前田鉄工株式会社	NC 75/7(機新設による生産ニス・対応強化事業	
80	有限会社クスベ産業	地域間伐材地中利用促進事業	
81	株式会社木村屋	先端素材であるカーボンファイバー強化プラスチック (CFRP) を使用した太物、長物のパイプ成型	
82	大谷食品株式会社	最新スチームコンベクションオーブン設置による求職業務効率化	
83	株式会社タイボー	「プラスチック再生原料の物性を連続で均質化する設備」の試作開発	
84	光吉フラッシュ	新鋭機の導入による建具製造技術のシステムと生産性・品質向上、作業環境の改善	
85	株式会社ケー・ワイ・ピー	トロポロン誘導体製造設備の導入	
86	株式会社貴望工業	小口・短納期化と内製化の推進	
87	ヒカリ技研株式会社 株式会社自然工能	多品種少口ット生産に対応した、生産管理(見積、受注、仕入、工程、原価)システムの構築	
88	株式会社泉鉄工所	最新型鉄骨用溶接口ボット導入による生産力向上	
89	成和技研株式会社	最新鋭設備導入による通信精密加工部品の海外輸出計画	
90	株式会社VSフィット	過熱水蒸気を用いる新規梅加工設備の導入と新しい梅素材の開発	
91	日吉染業株式会社	防炎・難燃加工の染色整理技術開発による差別化商品ゾーン参入計画	
92	株式会社シーフラグ	複合加工機の導入による小口化・短納期化型生産体制の構築	
93	大和ブロック株式会社	近畿地区初のブロックマット製造事業計画	
94	大洋化学株式会社	R-PET事業拡販による、射出成形機の設備投資	
95	住栄工業株式会社	クラック(亀裂)検出装置の溶接欠陥検出への応用と作業プロセスの開発	
96	有限会社熊野鼓動	和菓子製品類の熊野地域ブランド化事業	
97	株式会社継	山と都会を繋ぐ…間伐木と被害木利用「高品質炭団(たどん)」の量産技術の開発	
98	株式会社かつらぎ産業	ハナビラタケ廃菌床の飼料化及びこれに伴うハナビラタケ由来乳酸発酵技術開発	
99	桜井鉄工株式会社	高圧継手製品の品質向上・短納期化・コスト削減による海外競争力の向上	
100	株式会社ヴァイオス	多重円盤脱水機の導入によるグリーストラップ汚泥のリサイクル事業	
101	大谷産業株式会社	別注対応・短納期化・加工精度向上の為のNC複合加工機の導入	
102	野口工機株式会社	工業用クロムめっきの機能向上及び生産性向上に関する開発	
103	出口歯車工業株式会社	特殊歯車(スパイラルベベルギヤー等)加工の短納期化及びコスト合理化	
104	有限会社高城	小規模レトルト食品製造体制の構築による小ロット・短納期化の達成	
105	明楽ダンボール工業株式会社	高度な動力伝達性能を持つ、段ボール生産ラインの導入	
106	和興建産株式会社	高断熱、高強度、軽量の特性を有する住宅用壁、床、天井パネルの開発	
107	株式会社九重雑賀	和歌山県の特産品である果実を使用し甘味果実酒の試作開発を行う	
108	伏虎金属工業株式会社	大型スクリューポンプ開発・販売計画	
109	吉田染工株式会社	ホールガーメント編機導入による製品開発とデザインシステムの応用	
110	株式会社PDI	再生可能エネルギーの利用と省エネルギー対策が施された機器の導入による生産プロセスの効率化	
111	尾高ゴム工業株式会社	多品種&小ロットの産業用ゴムロール向け温水加硫缶(高性能加硫缶)の導入	
112	有限会社紀陽工作所	自動素材供給装置付複合加工機の導入による大ロット受注製品の生産性向上計画	
113	株式会社日本ハイパイル	ローラーブラシ用パイル生地の検反管理システム導入	
114	オカ株式会社	繊維製マット3D シミュレーション技術の開発	
115	株式会社中口板金工作所	ステンレス製コンテナタンクの量産加工機の試作開発	
116	株式会社丸昌	「Made in 和歌山」オリジナル白衣のブランド化事業	
117	原田織物株式会社	市場ニーズの変化に柔軟に対応する製造一貫体制の追求計画	
118	アイエススプリンクラー株式会社	損保仕様流水検知装置の試作品開発	
110 1		THE PARTY OF	
119	株式会社ふみこ農園	紀州みかんのドライフルーツ化と陳皮の粉砕利用	

56 | ものづくり補助事業 わかやま成果事例集 | 57

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
121	協同組合ラテスト	カーボンブラックに替わる化粧品用黒色顔料の製造	
122	扶桑精機株式会社	天然素材製品の樹脂量産化に伴う金型製造プロセス改善による生産力強化	
123	株式会社テクモ	超硬合金製金型の直彫加工技術の確立	
124	橘電装工業株式会社	大型品・重量物対応の塗装前処理ライン設備の導入による生産性向上と受注拡大計画	
125	阪和熱工有限会社	熱処理後の金属チューブをオンラインで小口径で巻取る自動機械の開発	

平成 25 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	株式会社スミロン	幼保育園、ユニット型老人施設・等で発生する使用済み紙おむつ処理機の開発	
2	ニッティド株式会社	新基幹システム導入による生産管理プロセス強化・業務改善事業	
3	ヨシダエルシス株式会社	ハイブリッドベンダー導入による「ワンストップ型ソリューション」の強化	
4	小西化学工業株式会社	機能性スルホン化ポリマーの用途展開	
5	中野 BC 株式会社	生体親和性向上のための材料複合技術を用いた梅エキス粒状製品の開発	
6	太洋工業株式会社	3次元CAD導入による設計の効率化及びコストダウン	
7	株式会社山東鐡工所	 ガラス繊維用ガス毛焼機の高火力化開発	
8	大洋鋳造株式会社	高性能混練機導入による鋳物砂の品質管理と生成職場の無人化	
9	株式会社ホタニ	製造工程IT化のための初期投資事業	
10	ブラックウッドジャパンコーポレーション		
11	南海スチール株式会社	鉄筋製造システム自動供給装置付複合設備の導入	
12	寺本紙器株式会社	ハロット、低価格かつ美粧なパッケージの提供と紙製家具製造への進出	
13	株式会社アイスティサイエンス	代謝物解析による全体把握のための代謝物用自動前処理装置の開発	
14	株式会社河北食品	安心・安全な弁当及び給食の供給力増強による地域社会へ貢献	
15	柏木鉄工株式会社	製鉄所連続鋳造設備鋳型大型化対応設備(クレーン)導入	
16	有限会社坂部ブラシ	ブラシ毛の植毛に最適なブラシ台の製造を図る事業	
17	アドバン工業株式会社	「ナノ加工の世界で見せる日本のものづくりの底力」	P12
18			FIZ
	株式会社小川製作所	『ITによる多品種少量・少品種大量生産を可能にするオールラウンド型経営の実現化計画』	
19	株式会社北浦	「匠の技とNC 加工機のマッチングによる、伝統の継承と更なる進化」	
20 21	有限会社丸之内マシーナリ	円筒内面の3次元面取り寸法測定装置の開発による定番商品化事業	
	正和産業株式会社	PTFE樹脂製シール部品加工用NC旋盤導入による樹脂部門の売上拡大計画	
22	株式会社ユー・イー・エス	ナノ粒子ヤシガラ活性炭の研究及び試作開発	
23	斎藤ドラム罐工業株式会社	最新型へリウムリークテスター導入によるドラム缶完成品の最終検査高精度化計画	
24	米阪パイル織物株式会社	パイル織物技術を活用した 通年型寝具生地の意匠開発	D14
25	株式会社興栄ケミカル工業所	マット裁断加工技術の高効率化・高精度化による販路拡大及び事業の拡大	P14
26	大和歯車製作株式会社	高効率冷凍機用の端面ポリゴン研削加工による付加価値向上事業	
27	株式会社フタバ	自動へム縫製機等によるタオル縫製加工の作業集約計画	
28	福原ニードル株式会社	高周波焼入装置の増設による高付加価値製品への転換促進	D10
29	株式会社赤井工作所	油圧式サーボ・下降式プレスブレーキによる特注品の短納期・多品種・小ロット化への実現	P16
30	日吉染業株式会社	捺染糊に含まれる揮発性有機化合物の再利用と着色排水の低減	
31	新田建築板金店	メッキ鋼板加工の高精度化を目指した折り曲げ機導入	
32	株式会社小林商事	高度化する銑鉄鋳物業への安心安全な材料の提供を目的とした各種分析装置の導入	
33	有限会社協同カッター工業	「ウォーターリサイクル工法」設備の増設による環境問題への対応と受注の拡大	
34	尾﨑産業株式会社	製造プロセスの再構築と開発力促進・販路拡大と雇用拡大の実現	
35	雑賀製作所	搬送用ステンレスタンク生産の内製化による低コスト化・短納期化事業	
36	モリックス精工株式会社	精密切削加工における生産性向上計画	
37	株式会社泉鉄工所	鉄構用ショットブラストマシン導入による、鉄骨摩擦処理面の高品質化事業	
38	株式会社丸昌	新基幹システム構築によるグローバル拠点の生産性効率化と営業力強化事業	
39	株式会社蒲田	取引先要望対応と弊社技術のフル活用を可能にする倉庫から第二工場への転用	
40	株式会社世界一統	國酒清酒ブランド「南方」を世界へ向けた蔵設備計画	
41	株式会社寿精密	リチウムイオン電池部品の新形状に対応する生産プロセス強化	
42	株式会社三晃精密	新仕上げシステム導入における金型部品の生産能力の改善と、さらなる精度向上	P18
43	日建産業株式会社	鋼管外面ショットブラストマシン導入	
44	株式会社平木米穀店	小口ット対応可能な無洗米仕上による精米付加価値向上事業	
45	阪和工業株式会社	塩化亜鉛結晶化設備の増設および海外拡売計画	
46	有限会社横田工作所	ショットブラスト装置の導入による生産性と品質の向上及び作業環境の改善	
47	有限会社ピー・オー・テック	CAD・CAMを用いた、足部製作の3次元足型自動測定・切削機器の導入	
48	東洋機械加工株式会社	硬度試験片粗切削加工の自動化による短納期化およびコスト合理化	
49	株式会社尾高工作所	YAGレーザ溶接機導入による高品質化、低コスト化、高生産性化事業	
50	株式会社坂口製作所	生産性に優れたアルミ抵抗溶接プロセスの開発	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
51	株式会社土井シャーリング	レーザー加工精度向上による鋼鈑の高精度化・量産化・低コスト化	
52	ヒカリ技研株式会社	金属部品加工径の大口径化を図り外注加工の内製化を実現する設備投資計画	
53	川口建設株式会社	間伐材を活用した燃料チップ等の生産設備改善による品質・生産性の向上	
54	有限会社紀陽製作所	復興関連事業に特殊車輛関連部品及び東京オリンピック関連のインフラ整備関連部品受注増 加による生産性向上と海外調達に対抗するコスト競争力の強化	
55	株式会社イワハシ	精密プラスチック部品加工技術向上と設備導入	
56	株式会社オプラス	配車管理システム導入による輸配送業務の効率化	
57	株式会社興和製作所	CNCドリルマシン導入による生産工程の改善と短納期化	P20
58	白光印刷株式会社	ユニバーサルデザインで新市場を開拓する「人にやさしい本」の試作開発	
59	ル・パティシエ ミキ	わかやま土産(地域生産物を活用した焼き菓子)の製造販売と開発	
60	出口歯車工業株式会社	「鋼製かご枠」溶接作業のロボット化による生産工程の改善	
61	原田織物株式会社	生産プロセスの改善により革新的な生産効率の向上と良品質商材の追求計画	
62	株式会社大輝製作所	曲げ工程改善による多品種少量対応と生産量・受注量拡大事業	
63	有限会社ハヤシ精機	測定計測装置の高能力化による新規受注拡大事業	
64	株式会社三宅鐵工建設	H形鋼一次加工の内製化による品質・生産性の向上事業	
65	株式会社笠原	ICTを活用した、時と場所を選ばない「移動出張所システム」の構築	
66	桜井鉄工株式会社	ネジ切り加工用マシニングセンタ導入による市場競争力強化	
67	天王醸造株式会社	醤油の古式製造法復元による原料処理からの一括生産	
68	元工 服 垣 休 式 云 社	番油の古式製造法復元による原料処理からの一括主性 インクジェットインクに使用する染料の生産性向上	
69	北村鉄工株式会社	最新型鉄骨用溶接口ボット導入による生産力向上	
70	平和酒造株式会社	ビール醸造製造技術を応用した発泡性ゆず酒の製造技術開発	
71	妙中パイル織物株式会社	超音波ドライクリーナーによる高精細液晶パネル用ラビングクロスの製造ラインの改良	
72	株式会社フジ設計	BIM活用で建築設計の可視化を行い品質向上と顧客満足度を構築	
73	笠野興産株式会社	医薬品個装ケースのGS1-128コード・印字・封緘を画像処理機にて検査・排出する装置導入	
74	西川食品株式会社	冷凍食品(冷凍米飯・オムライス)の生産、安全、品質向上にかかる設備導入計画	
75	株式会社菖蒲谷	省スペース型コア・仕口兼用溶接ロボット導入及び溶接ロボット設置に伴う受電設備増設計画	
76	株式会社インテリックス	オーダーカーテン品質向上、短納期生産のための新型縫製装置導入計画	
77	株式会社平山	紀州産 間伐材等を、Made In Japan Only Oneの工業製品に仕上げ、海外販売の拡大を計る	
78	大谷産業株式会社	機械導入による家具部材加工の生産能力・安全対策強化事業	
79	株式会社フォーラル	衣装カバー(ティッシュ式収納袋入り)の製造工程自動化による生産性向上	
80	株式会社貴望工業	世界初の新型植針機の開発と量産を実現させるマシニングセンタの導入	
81	株式会社木下染工場	コスト競争力強化の為の高効率ボイラー導入事業	
82	髙木彫刻株式会社	精密コーティング用ロール製造のための精密加工技術の確立	
83	菱岡工業株式会社	板金加工の高速・高機能・工程短縮・高精度化及び新分野拡大事業	
84	髙垣酒造株式会社	低温管理技術による高付加価値商品の開発	
85	株式会社平家製作所	C-FRPシャフトの精密加工技術の確立	
86	株式会社小久保工業所	プラスチック成型での文具等収納関係の商品のシリーズ化のための金型事業	
87	扶桑鍍金株式会社	微細な表面変位の詳細把握によるメッキ処理工程の効率化と品質管理の向上	
88	株式会社ふみこ農園	摘果した和歌山県産『桃 (青桃)』のコンポートを作るための前処理方法	
89	株式会社マルセ工機	最新型マシニングセンターによる繊維機械用部品精密加工の競争力強化事業	
90	株式会社大和化学工業所	既存技術と最新技術の最強コラボレーション	
91	株式会社サンメイト	真空スチームセット機導入による、園児用プリーツスカートの品質向上と生産効率改善の実現	
92	アイエムティー株式会社		
93	株式会社Y'sエンジニア	武科研磨争業にありる装直規の軽重化及びイッシアル消耗性の開発 チャック部品製作過程における、マイクロクラック削減事業	
94	株式会社原組	ソーラエネルギーを付設した植物工場の環境システムの構築	
95	株式会社シガ木工	製作コスト削減と材料廃棄率低減による桐製家具の開発	
96	株式会社トルネ	3Dプリンタ導入によるプラスチック製品開発スピード向上と高付加価値化計画	
97	サンキョー化成株式会社	ハイブリッド式射出成形機導入による木質樹脂製品の生産量増加、低コスト化計画	
98	大洋化学株式会社	自社分析の導入による再生プラスチックの高品質化・短納期化事業	
99	有限会社スリー・エフ・シー・デンタルラボ	歯科用CAD/CAMシステムを用いた保険歯科技工物全般の高度化と効率化	
100	株式会社朝間商会	ハイブリッド工法を可能にする「スリット・ボーリング加工機」の設備投資	
101	株式会社ヤエパック	品質の一定化・効率化のためのブラストマシン及び集塵機導入計画	
102	ナロック株式会社	大型高速ストランダーの開発	
103	株式会社西岡酒店	在庫・販売プロセス強化と顧客サービス向上の為の業務改革事業	
104	中井産業株式会社	建具業界における受注下請型から企画提案型への業態変革のための設備投資	
105	株式会社アセロラフーズ	新型セル生産機を導入による品質と生産性の向上、新しい販路の開拓	
106	株式会社和歌山印刷所	伝票製造における制作、校正など川上工程のシステム化による製造工程の最適化	
107	サカイキャニング株式会社	液体原料の高品質受入システム開発・導入による新形態での飲料受託開拓	
108	株式会社Citrus	食品乾燥機を用いた無添加ドライフルーツ・ドライベジタブルの製造	
109	株式会社日本化学工業所	紙用液体直接性染料の生産効率改善のための工場集約化、および増産体制の確立	

58 | ものづくり補助事業 わかやま成果事例集 | 59

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
111	ナギサビール株式会社	酸化を防ぐ自動瓶詰ライン導入による品質向上	
112	築野食品工業株式会社	新型高効率冷凍機更新による節電推進 (CO2削減~地球温暖化防止)	
113	三木理研工業株式会社	キャニスター用潜熱蓄熱マイクロカプセルの性能向上計画	
114	中田食品株式会社	和歌山県産果汁を使用したスパークリング梅酒の開発と製造ラインの構築	
115	成和技研株式会社	最新鋭加工設備導入による生産性及び品質向上計画	
116	セイカ株式会社	新規高機能性樹脂を指向した高純度芳香族ジアミンの開発	
117	株式会社河鶴	新製法国産たくあんの投入・開発による、新商品の市場化・惣菜へのチャレンジ	
118	株式会社アグリンク和歌山	業界初!紀州南高梅を使用した種抜き梅の自動新規製造ライン構築	
119	金剛ダイス工業株式会社	砥粒流動加工を用いた小径異形穴冷間鍛造金型の高精度化	
120	株式会社粉河	作業効率改善による増産体制構築に向けた設備投資計画	
121	藏野製材株式会社	輸出用梱包材の製造工程改善に係る設備投資による生産能力拡大計画	
122	株式会社熊野酸素	プレスブレーキ機械の導入による顧客要望への対応と新規受注の獲得	
123	花野食品	摘果 (廃棄) 青みかんを活用したリキュールの量産化とオイルの抽出	
124	国土建設株式会社	自社廃棄物を高品質木質ブリケットに再生することによる循環型社会への貢献	
125	有限会社アート工業	広告看板製作に3次元CADシステムを導入し、短納期化・複雑形状への対応を図る	
126	西岡総合印刷株式会社	1冊から当日注文出荷が可能なオンデマンド印刷、出版サービスの開発	
127	株式会社日本ハイパイル	大手通販会社向け長毛カーペットの新規開発及び生産販売。	
128	株式会社メイワ	冷凍空調機用圧力容器溶接ロボットシステム装置導入による生産合理化計画	
129	アクロナイネン株式会社	電動サーボダイカストマシン導入による、ダイカスト部品の品質向上計画	
130	株式会社保田鉄工所	CFRP成形金型関連設備導入による、航空・宇宙産業分野事業拡大計画	
131	南海鐵工株式会社	酸洗処理(磨棒鋼業界の製造工程)に代る研磨装置の開発	
132	有限会社みなべの梅農産組合	梅酢を原料にした脱塩梅酢果汁、梅塩の生産ラインの拡大	
133	田辺港輸入木材協同組合	県内特産果実の加工時に出る廃棄物の発酵堆肥化リサイクルの効率化事業	
134	株式会社マキカンパニー	【MADE IN JAPAN】生産力・価格競争力への挑戦	
135	有限会社島本化繊起毛工場	起毛時にマイクロスコープを駆使した軽く柔らかい保温性のある高品質な寝具の開発	
136	テラモト株式会社	競争力を付与された、新規ぬいぐるみの製造法の開発	
137	株式会社共栄テクシード	部品生産の効率化及び作業環境改善の為の5軸制御縦型マシニングセンター導入計画	
138	五二化学工業株式会社	新規冷却プロセスの導入による生産効率の向上	
139	新中村化学工業株式会社	シアロ糖鎖類縁体の効率的な製造方法の開発計画	
140	竹島鉃工建設株式会社	計画的生産性向上の為に自社独自開発の溶接ロボットを導入	P22
141	株式会社ヨシムラファーム	乾燥及び貯蔵設備の導入によるにんにくの周年出荷事業	P24
142	有限会社富光モータース	高度診断機活用による整備箇所の迅速な対応と整備内容のデータ化による顧客満足度向上事業	
143	株式会社菱丸商会	コア連結溶接ロボット導入による、生産力向上及び作業環境の改善	
144	松屋電工株式会社	木工CNCマシニングセンタ導入による新製品開発と既存製品の生産性向上。	
145	宮本歯研	最新設備の導入による補綴物等の製作時間の短縮と精度の向上	
146	有限会社NAO企画	3 Dレーザースキャナを活用した効率的で高精度な測量計測技術への展開事業	
147	萱野織物株式会社	新型ハーネス機導入による織効率・製品品質の向上	
148	カドヤ株式会社	受注生産方式シート貼木製建具枠後加工工程強化事業	
149	株式会社平岡鉄工所	ショットブラスト装置の導入効果(品質向上・生産性向上)による県外受注の拡大計画	
150	株式会社テクニカルセンター和歌山	歯科用CAD/CAM装置を用いた保険歯科補綴物の製作、及び歯科技工所連携の構築。	
151	株式会社ツネダ	市場の多様化に対応する生産体制強化事業	
152	株式会社中原製作所	高機能新設備導入による競争力向上	
153	野口工機株式会社	高温の環境下に於いて硬度の低下しない耐摩耗性に優れためっき浴の開発	
154	中家青果	果物形選別装置、処理能力高速化、高精度化事業	

平成 26 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	和歌山染工株式会社	市場ニーズにあったデザインの短期間での開発・販売	
2	おざきのひもの	小型魚体高速選別機による高鮮度干物での新規商品開発と販路開拓	
3	匠技研株式会社	世界一の高速・高精度ハムスライス機械の開発	
4	有限会社田辺食品工業所	食品製造現場への最新機器導入による製造環境の改善と生産強化	
5	日吉染業株式会社	ロータリースクリーン捺染におけるスクリーンの製版設備に関するシステムの構築	
6	株式会社坂口製作所	高精度なベンダーの活用による板金加工品の海外競争力強化	
7	株式会社ウイング	ロータリーダイカットシステム導入による競争力強化/新ビジネスモデル強化	
8	株式会社シガ木工	画像提案と立体加工を取り入れた桐材の極限活用による新製品の開発	
9	ワコー株式会社	ホットプレス機導入による商品力強化及び高付加価値新製品開発事業	
10	株式会社第一製版印刷	レーザー加工で美しく繊細な意匠をあしらった印刷物の制作及びネットによる販売の展開	
11	株式会社テクモ	自動車向け特殊形状ねじ金型の高精度加工技術の確立	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
12	株式会社一条	AR(拡張現実)技術を搭載した結婚招待状のWEBオーダーサービスの確立と全国展開	P28
13	株式会社吉村秀雄商店	清酒製造における洗米、蒸米、放冷新設備導入による技術の高度化、品質向上と省力化	
14	小西化学工業株式会社	炭素繊維複合材料向け低粘度エポキシ樹脂の開発	
15	株式会社インテリックス	高付加価値設備導入によるオーダーカーテン新規顧客層への展開	
16	株式会社早和果樹園	有田みかん加工品、高品質化による海外販路開拓プロジェクト	
17	株式会社土井シャーリング	高性能ドリルマシン導入によるスプライスプレートの量産化事業	
18	南海合繊株式会社	海外市場を見据えた新しいウェットスーツ素材の編成技術の導入	
19	株式会社ホロン精工	ニット編み機用ゴムローラ部品外観検査のIT化による品質向上・低コスト化計画	
20	大和歯車製作株式会社	次世代航空機向け補助動力装置(APU)用部品の加工技術開発事業	
21	和興建産株式会社	特許ハニカムを活用した高強度、高断熱、軽量な断熱パネルの安定的量産設備の事業化	
22	熊野の里株式会社	梅に新たな加工を施し新しい商品に蘇させる事業。『漬け物からスイーツへ』	
23	株式会社井上	業界初の品質管理体制の構築による化粧用品の受注増加計画	
24	株式会社データ技研	高精度、迅速な3D測量設計技術の活用による災害対策への貢献	
25	株式会社世界一統	和歌山県産果実使用のプレミアム(自然派)リキュール商品開発	
26	平和酒造株式会社	高品質な吟醸酒向けに原料処理設備導入による製造環境整備	
27	有限会社ハヤシ・シザース	多種多様品のニーズに対応するためのNC研削機導入による内製化	
28	株式会社ヒラニット 	自動裁断機とCADシステムを活用した婦人服の生産性向上とデザイン提案の強化	
29 30	秋原メリヤス株式会社	オリジナリティに優れたニット生地の開発、設備導入と顧客満足度向上 コンビニエンス向け新規梅干商品開発と製造ラインの構築	
30	中田良品株式会社 ウインナック株式会社	コンピーエンス向け 新規 伸士 間	
32	ヒカリ技研株式会社	リーアモーダー駆動力式を採用した放電加工機の追加導入による加工構度向上と生産能力増強計画 五面マシニングセンター導入での製造工程の改善による生産プロセス革新事業	
33	株式会社マージネット	カーステープラン・マータスでの製造工程の収音による主体プロセス軍制事業 ワン・ストップ対応強化によるタイムリーなDM発送体制の確立	
34	株式会社マーシネット	特定の目的物質の吸着・抽出機能を有した固相抽出剤の試作品の開発	
35	株式会社友進	和歌山発 プロ輩出『24時間営業 本格的レコーディングスタジオ』の提供	
36	ユタカ工作株式会社	迅速安全な取替えを実現する「ベルトコンベアーのベルト巻取車」の導入	
37	株式会社山利	老舗しらす屋、オーダーメイド設計の『新型自動釜』導入による事業展開	
38	富士香料化工株式会社	製品開発力の強化と迅速化計画	
39	有限会社服部鈑金塗装	最新設備を取り入れた自動車鈑金技術サービスと自動車塗装システム	
40	株式会社South wind	プレス金型/樹脂金型の更なる高速加工・高精度加工の確立	
41	アイエススプリンクラー株式会社	作動弁型流水検知装置の試作開発	
42	株式会社新宮看板広告	NCルーターとインクジェットプリンタ導入による顧客ニーズへの対応	
43	有限会社隆文社印刷所	AR技術を活用した看板の製作による新たな広告媒体の提案	
44	株式会社豊工業所	多機能ドリルマシンによる品質向上と連続加工による短納期化	
45	稗田化学工業株式会社	新素材(球状シリカ複合エポキシ樹脂)投射材の開発と販促プロジェクト	
46	株式会社小松原	ロールベンダー及びベンディングマシンを用いた高品質・低コストの生産システムの確立	
47	尾高ゴム工業株式会社	高耐久・高摩擦のセラミックとウレタンのハイブリッド材料開発	
48	4 Dセンサー株式会社	1 ピッチ位相解析法による高速高精度三次元形状・変形計測装置の開発	
49	出口歯車工業株式会社	鋼管圧延用工具の加工プロセス改善による生産性の向上	
50	株式会社農業総合研究所	「農家の直売所」事業でITを活用した効率的な出荷配送システムの確立	P30
51	株式会社スミロン	剥離促進層を持つ新規な熱剥離型粘着テープの開発	
52	協同組合ラテスト	備長炭、竹炭を原料とした医薬品向け黒色顔料インク用分散体の開発	
53	大谷塗装工場株式会社	新型乾燥機導入による作業効率改善と塗装品質向上及び環境負荷軽減	
54	株式会社西川製作所	PSA式窒素ガス発生装置の導入による生産プロセス革新計画	
55	株式会社いなみの里梅園	小袋専用包装機の導入による、製品の高付加価値化と競争力の強化	
56	株式会社塚本製作所	大型機(数値制御フライス盤)の導入による内製化計画	P32
57	株式会社河島本家	大根打ち抜き機・外皮(未利用資源)乾燥システムの導入	
58	株式会社丸昌	病院・施設向け寝具、患者着における市場ニーズ商品開発の迅速化	
59	株式会社オーエ	販売管理システム導入による短納期対応と顧客満足度の向上	
60	扶桑精機株式会社 有限会社柑香園	試作成形の精度向上による自動車向けプラスチック金型の高品質化事業 和勢山見産フルーツを100%使用した。こだわりなる加工品の生産能力向上と更なる品質向上計画	
62	一有限宏任相眷園 株式会社吉松工機	和歌山県産フルーツを100%使用した、こだわりある加工品の生産能力向上と更なる品質向上計画 動バランス測定の内製化による高付加価値化の実現	
63	株式会社石松工機 株式会社イブファーム	動パランス測定の内製化による高刊加畑恒化の美現 安定したイノブタ生産のための飼料製造改善事業	
64	株式会社明和製作所	安定のにインファ王産のにめの飼料表点以告事業	
65	カナプレスト株式会社	NC制御マシニングセンタ導入による作業の合理化と売上増大計画	
66	阪和電子工業株式会社	新規生産ライン構築による静電気可視化モニタの市場ニーズ対応強化	
67	株式会社雑賀製作所	3 D作業用クランピングテーブルシステムによる溶接品質・生産性の向上	
68	中家青果	村橋類の光センサーを用いた、糖度、内部障害果識別による商品価値化向上計画	
69	有限会社井戸畳店	畳業界最高水準の寸法精度と短納期化により、競争力の強化と利益増大を図る	
70	有限会社ホンダ自販那賀	接遇強化~車検点検整備の業務効率化システム構築によるお客様満足度向上計画	
71	株式会社鳥羽運送	商品別に温度管理できる大型冷凍庫にて、農産物を直接消費者に届けるシステム	
72	株式会社ヴァイオス	メタン発酵技術による漢方薬残渣・廃食品添加物の処理サービスの提供	

60 | ものづくり補助事業 わかやま成果事例集 | 61

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載Ⅰ
73	湯浅醤油有限会社	インバウンド観光誘致のための蔵見学予約システム開発と免税処理システム導入	
74	アイエムティー株式会社	顕微鏡観察用試料の作成に係る精密研磨条件の開発	
75	株式会社新栄組	緊急時対応可能な総合物流コントロールクラウド型システムの導入	
76	有限会社セ・ラ・セゾン	串本町の廃校を拠点として、特産果実を使った洋菓子の開発と串本のブランド化	
77	桜井鉄工株式会社	小型NC旋盤導入による市場競争力及び作業安全対策の強化	
78	株式会社VSフィット	過熱水蒸気処理果樹の加工設備導入による食品素材及び製品の開発	
79	紀州技研工業株式会社	UV硬化装置、並びにUV硬化インク開発	
80	株式会社平家製作所	C-FRPシャフトのセンタレス精密研磨加工技術の確立と生産拡大	
81	田村産業株式会社	トップラベル付棒ネットの低価格化を実現するための生産プロセス革新事業	
82	株式会社寿精密	高度構造解析技術を活用した電池・電子部品の試作プロセスの革新	
		混合ガス(He+N2)供給・回収装置及び充・回収ユニット導入による生産コスト削減	
83	株式会社メイワ	目標数値(ガス購入量削減)・・・現状比 80%削減	
84	株式会社紀州ほそ川	種抜き機を利用した種抜き梅生産の効率化と紀州うめどり加工品等を使った新規商品の開発	
85	株式会社タニガキ建工	鉄筋挿入工の施工を効率化し、作業員の安全性向上を図る施工機械の開発	
86	新栄陸運株式会社	クラウドシステム導入による国際複合一貫輸送	
87	白光印刷株式会社	「サイドオープン型製本」工程の確立によるオンリーワン市場の開拓	
88	吉田染工株式会社	SRY横編み機を使ったオリジナル生地の開発及び販売	
89	株式会社小川製作所	最新「CNCレーザパンチプレス」導入による半導体市場への参入拡大	
90	高木彫刻株式会社	「「「「「「」」	
91	大谷産業株式会社	例を表り返りの無いエンボスロール装造のための同門加川直設備(大型スキャケー)の等人 側板加工工程の高度化によるデザイン家具の実現	
91	株式会社紀州本庄うめよし		
	111111111111111111111111111111111111111	新型充填機導入で新商品開発し発売、既存商品の袋詰め製品の充実で販路拡大	
93	Oral	歯科技工業界におけるアナログ技工からデジタル技工への改革、及び歯科技工所連携の構築	- F.C
94	桝谷精工株式会社	プレスプレーキの設備更新による生産性UP及び省エネ化	P34
95	井手印刷株式会社	平面から立体へ!『新世代4次元印刷』への展開	
96	エクセルプリント	高温スチームバキュームプレス機導入によるプリント技術の向上	
97	有限会社紀の国食品	紀州梅を使用した新商品《梅くらげ》の機械設備導入による量産化	
98	有限会社吉村製作所	生産力向上及び環境改善を実現する省スペース型鉄骨自動溶接システム導入	
99	原田織物株式会社	高付加価値特殊縫製機導入による製造工程の革新的強化と海外市場攻略計画	
00	株式会社たにぐち	デザインを重視したチョコレート製品の開発及び生産性向上	
101	新宮木造住宅協同組合	伝統工法とプレカットを融合した新しい木造住宅の提供事業	
102	有限会社慶集社	感染予防対策上の死後処置サービス「美粧衛生」の展開	
103	株式会社西沢インダストリー	ダイレクトブロー成形機導入による市場ニーズへの対応と新市場開拓	
104	株式会社中尾酸素	自動非水槽式耐圧試験機の導入によるガス容器検査事業の収益拡大	
05	モリックス精工株式会社	多面加工における品質・生産能力向上及び生産工程効率化計画	
06	有限会社下津フードサービス	低蛋白パンの製造供給による腎臓病患者のクオリティオブライフの向上	
107	株式会社ODEC	複合CNC装置による先端機器部品の多品種少量一貫生産体制の確立	
108	金剛ダイス工業株式会社	ワイヤー放電加工を使った小径異形穴金型の高精度化と生産性向上	
109	株式会社中峰農園	梅干の概念を覆す!甘くてとろける食感のプレミアムスイーツ梅の開発	P36
			F 30
10	大鐵工業株式会社	新型溶接ロボット導入で既存品のステンレス化、及び新製品の開発	
111	有限会社西出水産	灰干しさんま製造の工程改善による品質安定	
12	笠野興産株式会社	包装工程におけるラベルへの印字及び検査、貼付の自動化	
113	有限会社畑野化成研究所	有機EL基幹材料(ボロン酸、ナフチルアントラセン)製造実現のための生産体制の確立	
114	株式会社アイガット	日本初 " 吊り編み機によるジャガード裏毛編み生地 " の生産技術の確立	
15	カネマサ莫大小(メリヤス)株式会社	世界初の編機開発導入によるオリジナル新素材と新しい市場の創造	
16	株式会社キンタロー	塗装技術の向上及び、周辺環境への配慮した「高齢者家具」の開発	
17	まち会社DREAM HASHIMOTO 株式会社	フリーズドライおよび真空包装技術を活用した海外市場開拓を目的とした「フリカケぽん酢」の開発	
18	タイミングプーリ・ジャパン有限会社	一貫生産体制によるタイミングプーリの高精度安定生産の実現	
19	中野BC株式会社	ゼロエミッション達成に向けた梅由来複合新素材の開発	
20	大和ブロック株式会社	景観を保全・創出する護岸ブロックの量産化計画	
21	株式会社大畑鉄工所	NCドリルマシン導入による生産性、品質向上及び作業環境改善	
22	有限会社大陽食品	規格外品柿(未利用資源柿)の利活用	
23	株式会社前田豊作堂	新塗装ブースの導入による位牌の製造効率の向上と製造本数の拡大事業	
24	貴志川工業株式会社	デザインシステム・SRY型編み機導入による、短納期対応、コストダウン、販路拡大計画	
25	株式会社石橋	横型撹拌乾燥装置によるバイオコークス原料多様化技術の開発	
126			
	有限会社麺彩工房ふる里	紀北産フルーツ等を使用した「大福」の製造により地域活性化を図る計画	
127	株式会社宮本商店	最新型NC旋盤導入をし、他社に負けない低コスト化・納期短縮の実現	
28	株式会社レシアン	クラウドを活用したシステム開発による新しい注文サービスの提供事業	
129	株式会社近代技研	CIMの実用化に向けた高度な建設生産システム構築の取組への参画	
130	株式会社コムテック	サービス付高齢者住宅内の居住者向け新しい個別販売サービスの実現事業	
	1 44-5 4-1	ロングパイル人工芝用タフト機導入による顧客ニーズへの対応と競争力強化	
131	株式会社コスモ化工		
131 132	株式会社コス七化工 有限会社ニシデ	生産加工の効率化、高精度化の為のレーザーカットマシン及びルーターマシンの導入計画	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
134	酒本物流有限会社	新型尿素水製造装置導入によるトラック排ガス浄化装置の閉塞防止とコスト削減	
135	株式会社ワカヤマヤモリ舎	遊休不動産を活用!国内外から旅行客を呼び込む、和歌山市初の「まちづくり交流宿」	
136	株式会社フレック	情報化技術導入による完全防水製品の自社ブランド構築	
137	コーワプラス株式会社	市場ニーズに、機動的に対応できる鮎の加工品提供体制の確立	
138	有限会社Kテック	多面加工実現による樹脂部品の高精度化及び生産性の向上	
139	有限会社家具のあづま	伝統工芸士が造る、家と家具のオーダーハウス	
140	メイク広告株式会社	視認性・耐久性に優れた看板の製作とコストダウン・工期短縮の取組	

平成 27 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	京和グリーン株式会社	産業用ロボットを利用した野菜苗の自動移植装置の開発	
2	大洋化学株式会社	R-PET樹脂製品の拡販を目的とした加飾設備投資	
3	株式会社かつら木材商店	高度な帯鋸目立て加工技術の内製化による生産ロスの低減と生産性の向上	
4	有限会社丸之内マシーナリ	3 D C A D導入による生産プロセスの高機能化と高収益化事業	
5	橘電装工業株式会社	最新ベンダー導入による生産プロセス改革とIoTによる工場間連携体制の構築	
6	株式会社嶋治水産	「しらす」の、最新モデル選別機による安全と品質と生産効率向上の実現	
7	株式会社ホロン精工	高機能測定装置導入によるゴムシール部品の寸法測定高信頼化・低コスト化	
8	株式会社坂口製作所	薄板溶接加工と異材溶接技術確立による板金溶接加工品の競争力強化	
9	株式会社ウメカ食品	地元食材(梅・果実)を利用した小ロット多品種の新商品製造・販売	
10	株式会社久保製作所	" 防災用ソックス一体型「全身スーツ及び防水ズボン」陸用 " の開発プロジェクト	
11	丸和ニット株式会社	両面ジャカード編機導入による企画力と技術力の強化	P40
12	株式会社早和果樹園	社内物流のボトルネック解消を目的とした製造出荷連携ラインの構築	
13	花野食品	農産物(青果物)の加工及びその残渣を有効活用	
14	株式会社アイセン	「落ちますポンジ」の内製化による品質の安定化および生産能力の向上	
15	株式会社アイガット	新しい起毛ニット生地の生産体制の構築	
16	株式会社西川製作所	溶接工程の自動化による内視鏡洗浄装置部品のさらなる短納期化と高品質化の実現	
17	大亜鋼業株式会社	最新型レーザ加工機導入による品質向上・生産工程の効率化と新規顧客の獲得	
18	中野BC株式会社	「日本庭園のある酒蔵」観光インバウンド事業(多言語対応)	
19	有限会社ハヤシ精機	マシニングセンタ導入による生産性向上事業	
20	セイカ株式会社	新規高機能性樹脂のための金属フリー芳香族ジアミンの環境調和型製造法の開発	
21	株式会社イワハシ	地場産業向け超肉厚成形品の品質向上・コスト削減計画	
22	オカ株式会社	革新的切断法によるマット生産設備増設事業	
23	桜井鉄工株式会社	最新CNC旋盤による異形継手及び非鉄製品の新分野展開	
24	アドバン工業株式会社	業務用エアコンの海外展開を加速させるための冷媒フロート弁の高精度加工	
25	株式会社テクモ	航空機等に使用される高精度チタン製ねじの製造を可能にするフォーマー加工金型の製造	
26	株式会社三晃精密	同時 5 軸加工システム導入による複雑形状品製造の高速高精度化と収益力強化	
27	有限会社イシイ	小型で5軸のマシニングセンター導入による生産プロセスの改善	
28	旭精機株式会社	精度を維持し現状比2倍の大型金型を製作する生産体制の確立	
29	有限会社ティ・ティ・エム	高野口伝統技術と先端技術の融合により、Made in高野口を世界に普及させる	
30	有限会社ハヤシ・シザース	海外市場開拓を目指したメンテナンスフリー超耐久性理美容鋏の開発	
31	関西化工株式会社	次世代自動車市場向けコンデンサ用封口ゴムの安定生産方式の開発	
32	三木理研工業株式会社	低ホルマリンメトキシメラニン樹脂の開発・製造	
33	株式会社興和製作所	橋梁耐震補修事業への本格進出にあたっての生産体制確立と品質向上	
34	株式会社メイワ	「SUS容器TIG溶接ロボットシステム」導入による生産能力及び付加価値の向上	
35	株式会社不動農園	梅甘納豆など「種なし梅」シリーズの商品化	
36	竹島鉃工建設株式会社	ビルドボックスの市場ニーズへの迅速な対応とタイムリーな供給体制の構築に向けたエレクトロスラグポータブル溶接機の導入	
37	株式会社小松原	レーザー加工機を用いた高品質・低コストの生産システムの確立	
38	松屋電工株式会社	次世代塗装下地処理設備導入による塗膜性能アップと環境にやさしい工場の実現	
39	有限会社田辺食品工業所	当社主力商品に対する高度な衛生管理技術の開発事業	
40	株式会社アイスティサイエンス	メタボローム分析を加速させるコンサルティング及び受託サービスへの取り組み	
41	小川工業株式会社	厚板の精密抜き加工における測定の効率化、工数削減による量産体制確立とモノづくり基盤技術の高度化	
42	カネマサ莫大小(メリヤス)株式会社	世界初の36ゲージを備えた縦糸挿入コンピュータジャガード丸編機の開発導入	
43	大岩自動車株式会社	最新高機能塗装ブース導入による、自動車鈑金塗装業の市場開拓	
44	株式会社たにぐち	チョコレート製品の表面加工処理における品質向上と生産工程の効率化	
45	プラム食品株式会社	主に製英原料としての保存性を有する梅加工 品の製造	
46	ニッティド株式会社	省力化による生産性向上と内製化を追求し商品供給の安定化を実現	
47	和歌山染工株式会社	生産性・品質・コストでの優位性を向上させる デジタル捺染システムの構築	
48	株式会社正木製作所	コンプレッサーの新製品化対応のための生産体制構築と低コスト化の実現	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
49	株式会社紀和自動車	最新塗装ブース導入による環境改善、納期短縮、品質向上に伴う顧客満足度の向上	
50	株式会社PDI	デジタルデバイスを使用する I o T型スマートランチャーの性能向上と生産性の改善	
51	友ヶ島汽船株式会社	友ヶ島を訪れる観光客の満足度向上による人気の恒久化を図る	
52	株式会社八旗農園	桃の風味を最大限に引き出したピューレの低温殺菌処理加工技術の開発	P42
53	株式会社七色畑ファーム	ICT導入により生産性向上と高品質生産を実現するスマート農業	
54	株式会社紀州美食	乾燥工程の内製化による多品種小口ットユー	
55	柏木鉄工株式会社	高付加価値品加工の半自動化を実現させるCNC	
56	株式会社峯	開先加工機の導入による、飛躍的な加工精度と生産性の向上	
57	株式会社ヴァイオス	バイオガス発電と蓄電池を連携させたスマートリサイクル事業の展開	
58	尾高ゴム工業株式会社	仕上げ加工工程の生産性向上、納期短縮と研磨技術の技術蓄積	
59	株式会社Queen	最小人員での受注管理を実現する外部連携受注システムの開発	
60	公園前中山歯科	全身の健康サポートまでを担う「健康長寿促進歯科医院」の展開	
61	株式会社鳥羽運送	和歌山県産みかん・柿輸送において高速パレットローラーシステムの導入による大幅な時間短縮輸送	
62	株式会社ドリーム産業	業界初の猫専用の美容器具の試作開発	
63	大伸化学工業株式会社	熱可塑性エポキシ樹脂含浸カーボン繊維の成型による形状付与に関する試作開発	
64	株式会社保田鉄工所	自動車産業分野への販路拡大によるCFRP金型売上増大計画	
65	株式会社雑賀製作所	アングルベンダーの導入によるステンレスタンクの海外競争力強化	
66	東洋機械加工株式会社	3 D デジタル技術と最新 C I C 連携による自動加工の実現と情報技術人材の育成計画	
67	アイレス電子工業株式会社	設備稼働・異常データ収集システム(試作)	
68	妙中パイル織物株式会社	新型タイイングマシーンの導入による内部コストの削減と新分野での商品開発	
69	マルヤマ食品株式会社	成型機導入による生産能力の向上と製造コストの削減	
70	小畑産業株式会社	貿易・稟議・文書管理を有する高機能営業支援システムで顧客満足度の向上	
71	株式会社ナカエ	ネットショップサイト賞味期限更新・管理システム	
72	株式会社尾高工作所	テーブルスポット溶接機導入による高品質化、高生産性向上化事業	
73	株式会社世紀工業	ボーリングロッド着脱の機械化施工	
74	株式会社中口板金工作所	新規ニーズ・顧客への多品種・小ロット製品の製作コストダウンを目指して!	
75	有限会社プウバアー商会	最新検査システムを使用した太陽電池モジュールの革新的保守サービスの提供	
76	株式会社貴望工業	最新鋭の工作機導入による高精度・多品種少量生産への事業多角化	
77	合名会社丸正酢醸造元	伝統技法と現代技術の融合による醸造酢の生産性向上と輸出促進事業	P44
78	有限会社阪和熱工	最新モデルの硬度計を駆使して精度の高い計測を行う	
79	有限会社一陽建設	情報化施工機器の導入と若年層人材を確保育成できる新体制の構築	
80	有限会社紀陽工作所	長尺NC旋盤加工機導入による受注増大事業	
81	株式会社インテリックス	縫製プロセス見直しによる生産効率・歩留及び品質向上計画	
82	株式会社ODEC	プレス成型機用精密金型の内製化と金属・ゴム一体化製品の開発	

平成 28 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	有限会社京和機工	3次元CADを導入して高性能なドラム缶搬送設備の開発計画	
2	株式会社土井シャーリング	海底構築物事業への参入のための加工システムの構築と加工設備の導入	
3	小西化学工業株式会社	受発注管理システム導入による福井工場-本社間接部門 の業務一体化	
4	株式会社世紀工業	ICT技術を活用した3次元測量による建設工事測量の効率化のための測量サービス提供	
5	株式会社則種海産	色彩選別機導入によるしらす選別・異物除去 プロセスの高度化事業	
6	有限会社マルヨシ	X線異物検出装置の導入による安心・安全な食品提供 体制の確立	
7	株式会社ヤマヨテクスタイル	ハイゲージ丸編機導入による生地の安定供給とニット市場の拡大	
8	株式会社オージャス	日本国内には存在しない電動開閉式露天風呂が全室に付く温泉旅館	
9	株式会社西川製作所	内視鏡洗浄機部品の製造における曲げ工程の高精度化とサイクルタイムの短縮	
10	太陽食品株式会社	IoTを用いた各種製造プロセス情報の統合的管理による能動型OEM製品(菓子)の高効率大量生産体制の確立	
11	有限会社深見梅店	有機南高梅の商品到着日時指定サービスに係る長期貯蔵技術開発	
12	福原ニードル株式会社	YAGレーザー溶接加工を付加した高品質ファインゲージメリヤス編針の生産体制強化	
13	株式会社旭洋冷蔵	最新型選別機の導入による地元産規格外果実の学校 給食への供給促進	
14	キセイ株式会社	高周波溶着機導入によるテントシート製品のイベン ト・展示会向けの事業拡大	
15	株式会社たにぐち	「具材の食感と視覚」を楽しめる固形物入り高級チョコレー ト製品の生産体制の確立	
16	株式会社マージネット	「見える化」でリアルタイム情報を共有する革新的サービスの構築	
17	株式会社インテリックス	オーダーカーテン販売における革新的サービスの導入による販売力強化事業	
18	ヤマサ工業株式会社	自動充填包装機の導入による「ほしものびより」の 低コスト化及び生産性向上	·
19	島研摩機材株式会社	レアアース磁石製造工程で発生する屑品リサイクル計画	
20	有限会社レストランフライヤ	創業84年の伝統をもとに最新設備導入による中食事業の高度化	P48
21	株式会社興和製作所	大型鉄骨溶接の自動化による 熟練工の高付加価値部門への集中配置	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
22	株式会社河北食品	革新的なアレルギー対策ライン設置による安心と安全な学校給食の提供	
23	株式会社第一製版印刷	A I ネットワーク参入による機械故障の予防保全と生産性向上	
24	ニッティド株式会社	アンドンと自動化による生産管理強化と品質管理の強化	
25	中野BC株式会社	脂溶性成分(油分)を含有する丸剤の開発	
26	金剛ダイス工業株式会社	小径異形穴金型の非接触測定技術の構築と新事業展開	
27	大阪精機工作株式会社	高速ワイヤ放電加工機導入による 1 μm単位の 高精度加工技術の確立	
28	株式会社小谷製缶工業	生産ライン増強による住宅・ビル向けアルミ建材の増産・高精度化	
29	株式会社伊藤農園	有田みかん加工品の販売拡大に伴うキャッパー機及び搾汁機設備導入	
30	株式会社サンテック	最新のワイヤー放電加工機の導入による、生産工程の 革新的改革	
31	紀陽除虫菊株式会社	大容量除湿剤の溶着加工・容量検査の高精度化 および増産体制の確立	
32	日吉染業株式会社	カーテン業界のニーズに対応した多色柄広幅ポリエステル生地の生産技術の確立	
33	株式会社和歌山トムソン	新型グルアーを導入し商品価値を高める形状の紙器をデザインする取組	
34	株式会社丸昌	業務用寝装品検査システム導入による品質及び 顧客サービス向上計画	P50
35	林田株式会社	一体編成によるニット製品の高品質化と短納期化およびオーダー事業の展開	
36	扶桑精機株式会社	小径精度穴の加工プロセス改善による プリンタ精密部品の生産力強化	
37	アドバン工業株式会社	自動車の新機軸安全装置に使用される精密部品の製造開発	
38	株式会社坂本製作所	平面研削盤の導入による製品の高精度化及び品質の安定的供給	
39	株式会社大和化学工業所	世界初!ハイブリッドトイレブラシの開発からの自動インサート生産体制の確立	
40	久保田工業株式会社	最新型CNC旋盤導入による競争力強化に伴う経営力強化	
41	株式会社赤井工作所	CNCファイバーレーザ加工機導入によるIoTを活用した 生産管理及び生産性の向上計画	
42	菓匠錦花堂	菓子製造工程で自動包装機を新規導入することによる 生産性向上、及び看板商品の拡販	
43	株式会社テクモ	冷間圧造による自動車向け複雑形状部品の製造を可能にする高精度な金型の製造開発	
44	株式会社淺野商会	大型焼付塗装窯導入による納期短縮と顧客ニーズへの対応	
45	原田織物株式会社	新分野進出の為、革新的な生産プロセスの改善 と品質基準の高度化計画	
46	デュプロ精工株式会社	小型製紙装置の低価格・コンパクト化に向けた部品内製化事業	
47	アクロナイネン株式会社	ダイカスト鋳造ピストンの生産設備導入と国内生産の増強	
48	株式会社貴望工業	中国向け高精度組立自動化ライン開発の体制強化	
49	西原精工株式会社	大型マシニングセンタ導入による内製化及び生産性の向上	
50	橘電装工業株式会社	新規サッシ事業の推進に向けた長尺加工用ベンダーの導入とIoTの強化	
51	株式会社進藤建設	3D設計ソフトとITを利活用した工程管理による 総合建築サービス	
52	東洋機械加工株式会社	IoT、AI技術を用いた生産プロセスの見える化と労働生産性向上計画	
53	株式会社阪中緑化資材	独自性の高い独創的な山林苗の育苗トレーの開発・市場投入による新規顧客の開拓	
54	アイエムティー株式会社	試料用作成装置における部品の内製化に伴う加工技術の最適化 及び高度化	
55	有限会社中筋オートボデー	生産性・審美性・品質向上を実現する高性能シャー リング機導入によるオリジナルボデーの作成	
56	株式会社小川製作所	レーザー溶接・切断機導入による生産性及び精度の向上と人材育成の推進	
57	有限会社シーケーテクノ	自動車産業向け部品の製造工程を見直し、高精度・短納期を実現させる計画	
58	株式会社神戸屋	ソーセージの合理化設備導入とHACCP認証検査設備で 品質向上	
59	有限会社樽の味	発酵技術を駆使した原材料内製化による無添加甘酒の製造プロセスの変革	P52
60	桝谷精工株式会社	混合ガス(He+N2)充填・回収装置導入による 生産コスト削減及び検査品質向上	
61	株式会社岡田織物	自動裁断機導入による合理化及び企画提案型企業への変革	P54

ものづくり補助金事業 成果事例集 わかやま

ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業(フォーローアップ事業) 平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金

発 行 日 平成31年1月

編集・発行 和歌山県中小企業団体中央会

〒640-8152 和歌山市十番丁19番地Wajima十番丁4階

TEL:073-431-0852

http://www.chuokai-wakayama.or.jp/

制 作 株式会社和歌山リビング新聞社

〒640-8224 和歌山市小野町1-18

TEL:073-428-0281

※乱丁・落丁本がございましたら和歌山リビング新聞社へご送付ください。送料負担でお取替え致します。
※編集内容に関するお問い合わせも対応させていただきます。